

LOBO調査 実施商工会議所 御中

日本商工会議所

LOBO調査（2016年12月分）の集計結果の送付について

先般実施いたしました標記調査の集計結果を下記の通りご報告いたします。
 実施商工会議所各位におかれましては、本調査結果をヒアリング対象企業へ送付されるほか、会合等での資料として積極的にご活用くださるようお願いいたします。
 なお、本調査結果（ブロック別概況部分を除く）につきましては、日商ホームページに掲載しておりますので、併せてご利用ください。
 （アドレスは <http://www.jcci.or.jp/lobo/lobo.html> です。）

（本件担当） 産業政策第一部 小田・佐藤・富澤
 TEL：03-3283-7630
 FAX：03-3213-8716
 E-mail:sangyo1@jcci.or.jp

○調査期間：2016年12月13日～19日
 ○調査対象：全国の423商工会議所が2977企業にヒアリング

| <産業別回収状況> | | | | <ブロック別回収率> | |
|-----------|-------|------|-------|------------|-------|
| 調査産業 | 調査対象数 | 回答数 | 回収率 | | |
| 建設 | 457 | 238 | 52.1% | 北海道 | 43.6% |
| 製造 | 722 | 376 | 52.1% | 東北 | 54.4% |
| 卸売 | 324 | 169 | 52.2% | 北陸信越 | 45.5% |
| 小売 | 687 | 324 | 47.2% | 関東 | 54.1% |
| サービス | 787 | 364 | 46.3% | 東海 | 39.8% |
| 合計 | 2977 | 1471 | 49.4% | 関西 | 45.5% |
| | | | | 中国 | 51.0% |
| | | | | 四国 | 67.5% |
| | | | | 九州 | 47.9% |

○調査項目：今月の売上・採算・業況等についての状況（DI値を集計）
 ※ DI値（景況判断指数）について
 DI値は、売上・採算・業況などの各項目についての、判断の状況を表す。ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりの意味する。

DI = (増加・好転などの回答割合) - (減少・悪化などの回答割合)
 業況・採算：(好転) - (悪化) 売上：(増加) - (減少)

———【2016年12月調査結果のポイント】———

業況DIは、3カ月連続改善。先行きは不透明感強く、横ばい圏内の動き

12月の全産業合計の業況DIは、▲21.7と、前月から+1.2ポイントの改善。冬の観光需要が堅調な宿泊業・飲食業に加え、運送業、ソフトウェア業などが下支えし、サービス業の業況感が広く改善した。また、卸売業から農産物の価格高騰の影響が和らいだとの声や、建設業から住宅など民間工事の堅調な動きを指摘する声が多く聞かれた。他方、消費低迷が続く中、人手不足による受注機会の損失や人件費の上昇が中小企業のマインドを下押ししており、業況改善の動きは依然として力強さを欠いている。

先行きについては、先行き見通しDIが▲21.5（今月比+0.2ポイント）とほぼ横ばいを見込む。冬の賞与増、株高進行による個人消費の伸びや設備投資の増加、海外経済回復に期待する声聞かれる。他方、消費低迷の長期化、人手不足の影響拡大、次期米国大統領の政策の影響など、先行き不透明感を懸念する声は多く、中小企業においては慎重な姿勢を崩していない。

ブロック・産業別業況D I（前年同月比：2016年12月）

| | 全業種 | 建設 | 製造 | 卸売 | 小売 | サービス |
|------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 全国 | ▲ 21.7 | ▲ 12.7 | ▲ 19.6 | ▲ 22.5 | ▲ 38.2 | ▲ 14.6 |
| 北海道 | ▲ 21.6 | ▲ 4.5 | ▲ 28.6 | ▲ 14.3 | ▲ 41.7 | ▲ 14.3 |
| 東北 | ▲ 23.1 | 4.5 | ▲ 16.1 | ▲ 47.1 | ▲ 48.4 | ▲ 12.1 |
| 北陸信越 | ▲ 23.2 | ▲ 21.9 | ▲ 27.3 | ▲ 42.9 | ▲ 18.5 | ▲ 15.6 |
| 関東 | ▲ 18.1 | ▲ 12.7 | ▲ 9.1 | ▲ 13.3 | ▲ 35.7 | ▲ 19.7 |
| 東海 | ▲ 25.0 | ▲ 15.0 | ▲ 17.4 | ▲ 40.0 | ▲ 50.0 | ▲ 14.0 |
| 関西 | ▲ 28.8 | ▲ 9.1 | ▲ 25.6 | ▲ 14.3 | ▲ 51.2 | ▲ 26.3 |
| 中国 | ▲ 23.2 | ▲ 7.7 | ▲ 21.9 | ▲ 10.0 | ▲ 38.5 | ▲ 22.2 |
| 四国 | ▲ 19.2 | ▲ 27.8 | ▲ 23.3 | ▲ 30.0 | ▲ 20.0 | 0.0 |
| 九州 | ▲ 18.3 | ▲ 17.6 | ▲ 35.5 | ▲ 13.3 | ▲ 33.3 | 9.1 |

ブロック・産業別業況D I（先行き見通し：2017年1月～3月）

上段：2016年12月時点

下段：2015年12月時点

| | 全業種 | 建設 | 製造 | 卸売 | 小売 | サービス |
|------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 全国 | ▲ 21.5 | ▲ 6.0 | ▲ 20.6 | ▲ 24.9 | ▲ 34.2 | ▲ 19.6 |
| 北海道 | ▲ 18.2 | ▲ 13.8 | ▲ 16.3 | ▲ 23.7 | ▲ 27.4 | ▲ 12.2 |
| 東北 | ▲ 22.7 | ▲ 23.8 | ▲ 20.0 | ▲ 14.3 | ▲ 39.1 | ▲ 11.5 |
| 北陸信越 | ▲ 20.2 | ▲ 15.0 | ▲ 21.4 | ▲ 60.0 | ▲ 35.0 | 3.8 |
| 関東 | ▲ 23.3 | 0.0 | ▲ 19.4 | ▲ 29.4 | ▲ 35.5 | ▲ 27.3 |
| 東海 | ▲ 24.4 | ▲ 21.7 | ▲ 17.2 | ▲ 41.7 | ▲ 22.6 | ▲ 28.6 |
| 関西 | ▲ 31.4 | ▲ 15.6 | ▲ 33.3 | ▲ 42.9 | ▲ 23.1 | ▲ 46.9 |
| 中国 | ▲ 23.9 | ▲ 40.0 | ▲ 21.4 | ▲ 18.2 | ▲ 28.0 | ▲ 13.8 |
| 四国 | ▲ 17.3 | 1.4 | ▲ 17.3 | ▲ 16.7 | ▲ 23.8 | ▲ 24.3 |
| 九州 | ▲ 12.8 | 0.0 | ▲ 13.9 | ▲ 12.5 | ▲ 23.0 | ▲ 11.9 |
| 全国 | ▲ 19.7 | ▲ 9.5 | ▲ 15.2 | ▲ 46.7 | ▲ 43.8 | ▲ 2.3 |
| 北海道 | ▲ 16.3 | ▲ 8.0 | ▲ 15.7 | ▲ 31.3 | ▲ 25.9 | ▲ 10.6 |
| 東北 | ▲ 23.8 | 4.5 | ▲ 22.0 | ▲ 19.0 | ▲ 39.5 | ▲ 27.0 |
| 北陸信越 | ▲ 17.0 | ▲ 19.0 | ▲ 7.7 | ▲ 16.7 | ▲ 27.7 | ▲ 12.5 |
| 関東 | ▲ 21.4 | 0.0 | ▲ 9.4 | ▲ 40.0 | ▲ 48.0 | ▲ 11.1 |
| 東海 | ▲ 24.2 | ▲ 20.0 | ▲ 19.4 | ▲ 22.2 | ▲ 40.9 | ▲ 14.3 |
| 関西 | ▲ 18.4 | ▲ 11.8 | ▲ 26.7 | ▲ 10.0 | ▲ 32.0 | 0.0 |
| 中国 | ▲ 12.6 | ▲ 9.5 | 3.4 | ▲ 10.0 | ▲ 33.3 | ▲ 12.5 |
| 四国 | ▲ 23.8 | ▲ 11.8 | ▲ 32.3 | ▲ 26.7 | ▲ 40.0 | ▲ 6.1 |
| 九州 | ▲ 28.7 | ▲ 27.8 | ▲ 41.9 | ▲ 41.7 | ▲ 25.0 | ▲ 11.5 |

※「先行き見通し」は当月に比べた向こう3カ月の先行き見通しD I（以下同じ）

産業別にみると、今月の業況D Iは前月に比べ、卸売業、サービス業で改善、小売業でほぼ横ばい、その他の2業種で悪化した。

各業種から寄せられた特徴的なコメントは以下のとおり。

【建設業】「民間工事は多く、業況は安定している。しかし、人手不足は深刻で、受注できない案件も多い。当社が人材を手当てできても、下請業者がなかなか見つからない」（電気工事業）、「公共工事の発注には一服感が出ているが、民間工事では、住宅などで動きが見られるため、全体の売上は前年に比べ、改善した」（一般工事業）

【製造業】「例年、おせち材料の需要から売上が増加する時期だが、鮭の不漁による供給不足と仕入価格上昇で、売上、採算ともに悪化した」（水産食料品製造業）、「円安の進行は、発注元の大手メーカーの輸出増が期待できる一方、最近の原材料価格や燃料費の上昇を一層拡大させ、収益の圧迫要因にならないか心配」（自動車部品製造業）

【卸売業】「住宅着工戸数が順調に伸びていることもあり、建設業からの引き合いが強く、売上は改善した」（建築材料卸売業）、「地元産の農産物が出回り始めたことで、供給量が元に戻り、価格は下がりつつある。高値のため落ち込んでいた消費者の購買意欲が戻れば、売上も回復する見込み」（農産物卸売業）

【小売業】「売上は前年割れが続いているため、お歳暮商戦に力を入れ、挽回を図っている。自分へのお歳暮ギフトが好調なほか、クリスマス商戦も順調であり、今後も更なる販促を進めていく」（百貨店）、「気温の低下に加え、賞与の支給により消費者の購買意欲が刺激され、冬物衣料の売上が少し上向いた。ただし、低価格品のまとめ買いがほとんどであり、高額品の売上は低調」（衣料品小売業）、「客単価の減少が続いているため、客数増加を目的にイベントやタイムセールなどの販促を実施。売上は前年比横ばいを維持している」（日用雑貨小売業）

【サービス業】「忘年会プランの反応は良好なほか、例年より早く積雪があることでスキー客の入りも好調だ」（飲食業）、「年末商戦や初売り関連の出荷が増加し、売上は堅調である。しかし、慢性的なドライバー不足や、燃料費などの上昇により、業況感は改善しない」（運送業）

【業況についての判断】

○ 業種別では、建設業は、住宅関連の堅調な動きが続くものの、一部の地域で公共工事に一服感が見られ、悪化。製造業は、電子部品、自動車関連が底堅く推移する一方、新興国向けの工作機械の受注低迷や、不漁により水産加工業が振るわず、悪化。円安の進行による輸入原材料の仕入単価上昇を懸念する声も聞かれる。卸売業は、農産物の価格高騰に落ち着きが見られ始めたほか、建設需要に牽引された建築材料関連が好調に推移し、改善。ただし、「悪化」から「不変」への変化が主因であり実体はほぼ横ばい。小売業は、消費者の節約志向が依然として強く、高額品販売は苦戦しているものの、歳暮やクリスマス・年末商戦により客足が底堅く推移し、ほぼ横ばい。気温の低下により冬物商品が上向いたとの声も聞かれた。サービス業は、改善。年末年始の需要が堅調な宿泊業・飲食業やシステム投資の受注が好調なソフトウェア業が全体を押し上げた。また、燃料費が上昇しているものの、年末商戦や初売りに向けた配送需要が増加している運送業が底堅く推移した。例年より早い積雪によるレジャー客の増加を指摘する声もあった。

○ 向こう3カ月（1～3月）の先行き見通しは、全産業合計の業況DI（今月比ベース）が▲21.5（今月比+0.2ポイント）と、横ばいの見込み。

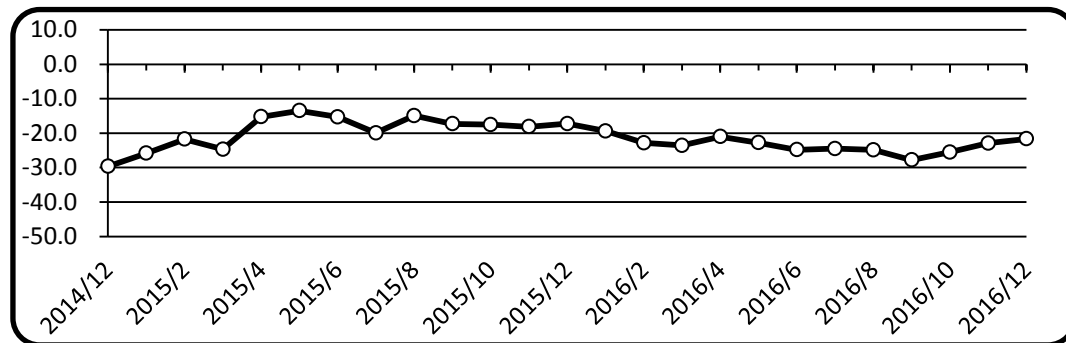
○ 産業別に先行き見通しをみると、今月と比べ、改善を見込む建設業、小売業のうち、小売業は「悪化」から「不変」への変化が主因であり、実体は横ばい圏内の動きとなる見込み。悪化を見込むその他の3業種のうち製造業、卸売業は「好転」から「不変」への変化が主因であり、実体はほぼ横ばい。

業況DI（前年同月比）の推移

| | 16年 | | | | | | 先行き見通し 1～3月 |
|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|----------------|
| | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | |
| 全産業 | ▲24.5 | ▲24.9 | ▲27.8 | ▲25.5 | ▲22.9 | ▲21.7 | ▲21.5 |
| 建設 | ▲22.6 | ▲17.8 | ▲16.1 | ▲12.9 | ▲11.0 | ▲12.7 | ▲6.0 |
| 製造 | ▲20.8 | ▲20.2 | ▲24.7 | ▲18.1 | ▲18.2 | ▲19.6 | ▲20.6 |
| 卸売 | ▲27.5 | ▲33.1 | ▲27.7 | ▲29.0 | ▲26.4 | ▲22.5 | ▲24.9 |
| 小売 | ▲37.2 | ▲38.2 | ▲43.5 | ▲47.6 | ▲38.5 | ▲38.2 | ▲34.2 |
| サービス | ▲16.9 | ▲18.9 | ▲23.8 | ▲20.7 | ▲20.3 | ▲14.6 | ▲19.6 |

※「先行き見通し」は当月に比べた向こう3カ月の先行き見通しDI

《業況DI（全産業・前年同月比）の推移》



【売上（受注・出荷）についての判断】

○ 売上面では、全産業合計の売上DIは▲16.0（前月比+3.0ポイント）と、改善。ただし、「悪化」から「不変」への変化が主因であり、実体はほぼ横ばい。産業別にみると、建設業は、住宅などの民間工事の堅調な動きが続く一方、地域により公共工事の一服感を指摘する声も聞かれ、ほぼ横ばい。製造業は、工作機械などで低水準の受注量が続く一方、電子部品や自動車関連が堅調に推移し、ほぼ横ばい。中国などで建設機械の受注に動きが出てきたとの声もある。卸売業は、改善したものの、「悪化」から「不変」への変化も影響したことに留意が必要。農産物の価格高騰が落ち着きを見せてきたほか、建築資材も堅調に推移した。小売業は、歳暮やクリスマス・年末商戦の販促により客数は増えたものの、消費者の低価格志向は強く、悪化。気温の低下から冬物商品に動きが出てきたとの声もある。サービス業は、年末商戦や初売りの配送需要が増加した運送業に加え、観光や忘年会などの需要に下支えされた飲食業・宿泊業が全体を押し上げ、改善。ただし、人手不足の中で繁忙期を迎え、営業活動に深刻な影響が出ているとの声も聞かれた。

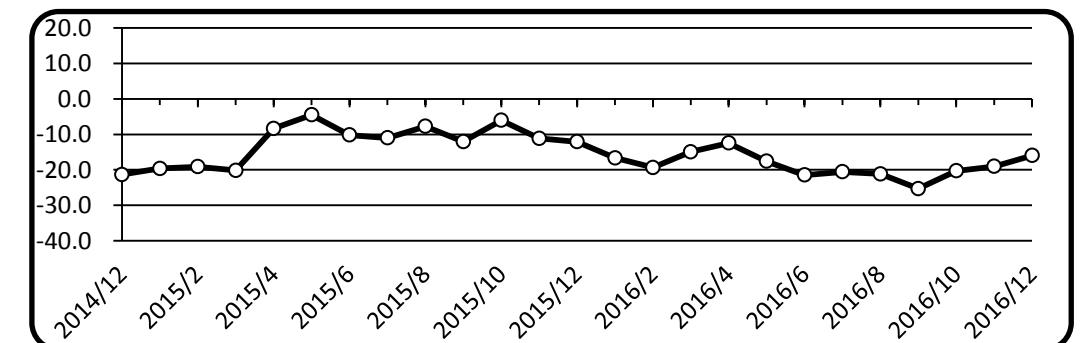
○ 向こう3カ月（1～3月）の先行き見通しは、全産業合計の売上DI（今月比ベース）が▲17.0（今月比▲1.0ポイント）と悪化の見込み。ただし、「好転」から「不変」への変化が主因であり、実体はほぼ横ばい。

○ 産業別に先行き見通しをみると、今月と比べ、建設業、製造業、小売業で改善を見込むものの、「悪化」から「不変」への変化が主因であり、実体はいずれも横ばい圏内の動きとなる見込み。悪化を見込むその他の2業種のうち、卸売業は「好転」から「不変」への変化が主因であり、実体はほぼ横ばい。

売上（受注・出荷）DI（前年同月比）の推移

| | 16年 | | | | | | 先行き見通し 1～3月 |
|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|----------------|
| | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | |
| 全産業 | ▲20.6 | ▲21.2 | ▲25.3 | ▲20.3 | ▲19.0 | ▲16.0 | ▲17.0 |
| 建設 | ▲23.8 | ▲19.8 | ▲17.0 | ▲10.3 | ▲8.8 | ▲8.5 | ▲4.7 |
| 製造 | ▲17.0 | ▲18.3 | ▲19.8 | ▲13.7 | ▲16.6 | ▲17.3 | ▲15.9 |
| 卸売 | ▲20.6 | ▲19.3 | ▲19.2 | ▲18.5 | ▲19.4 | ▲3.0 | ▲16.0 |
| 小売 | ▲30.8 | ▲39.4 | ▲45.3 | ▲39.3 | ▲31.9 | ▲35.7 | ▲28.0 |
| サービス | ▲13.2 | ▲9.7 | ▲20.4 | ▲18.2 | ▲16.6 | ▲8.0 | ▲16.9 |

《売上（受注・出荷）DI（全産業・前年同月比）の推移》



【採算の状況についての判断】

○ 採算面では、全産業合計の採算DIは▲19.1（前月比+1.2ポイント）と、改善。ただし、「悪化」から「不変」への変化が主因であり、実体はほぼ横ばい。産業別にみると、建設業は、人件費や資材価格の上昇による収益圧迫を指摘する声が多く、悪化。製造業は、好調な電子部品や自動車関連を中心に、改善。他方、急速に進む円安により、輸入原材料の仕入単価の上昇を懸念する声も聞かれる。卸売業は、改善したものの、「悪化」から「不変」への変化が主因であり、実体はほぼ横ばい。コスト上昇分の価格転嫁は全体として進んでいるものの、鉄鋼をはじめ金属材料などでは、転嫁が難航している状況も伺える。小売業は、ほぼ横ばい。個人消費の低迷が長期化する中、販売価格を引き下げざるを得ないとの声が聞かれたほか、人件費上昇が足かせとなる状況が続く。サービス業は、農産物価格の高騰が和らいだ飲食業やシステム投資の伸びを受けたソフトウェア業が好転し、改善。燃料費が上昇しているものの、受注が好調な運送業も下支えしている。

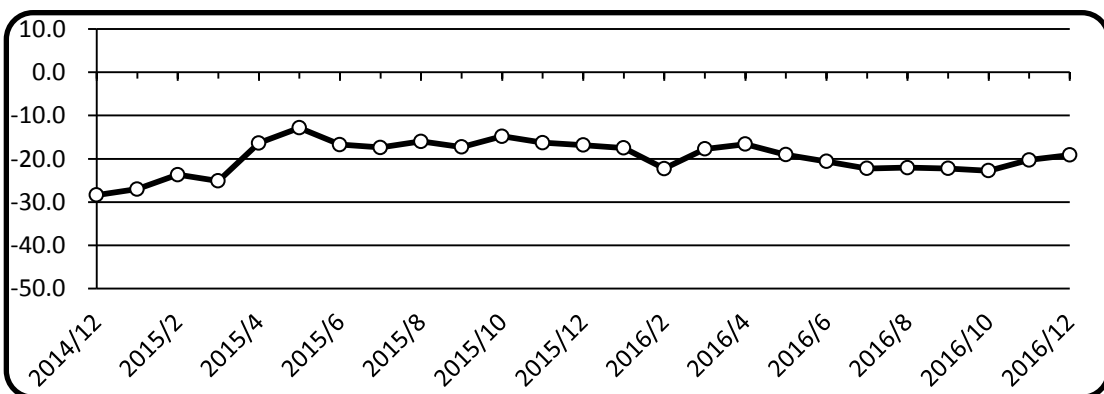
○ 向こう3カ月（1～3月）の先行き見通しは、全産業合計の採算DI（今月比ベース）が▲19.4（今月比▲0.3ポイント）とほぼ横ばいの見込み。

○ 産業別に先行き見通しをみると、今月と比べ、建設業、小売業で改善。ただし、「悪化」から「不変」への変化が主因であり、実体はほぼ横ばい。製造業は、ほぼ横ばい、その他の2業種は悪化を見込む。

採算DI（前年同月比）の推移

| | 16年 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 先行き見通し 1～3月 |
|------|-----------|-------|-------|-------|-------|-------|----------------|
| 全産業 | ▲22.2 | ▲22.1 | ▲22.2 | ▲22.7 | ▲20.3 | ▲19.1 | ▲19.4 |
| 建設 | ▲28.8 | ▲22.8 | ▲20.9 | ▲14.7 | ▲10.5 | ▲15.3 | ▲11.9 |
| 製造 | ▲18.6 | ▲16.3 | ▲15.4 | ▲18.7 | ▲18.0 | ▲16.8 | ▲16.1 |
| 卸売 | ▲17.7 | ▲23.0 | ▲21.0 | ▲20.1 | ▲13.8 | ▲11.3 | ▲16.6 |
| 小売 | ▲29.5 | ▲32.7 | ▲33.5 | ▲39.6 | ▲35.3 | ▲35.0 | ▲31.7 |
| サービス | ▲17.2 | ▲17.6 | ▲20.2 | ▲18.8 | ▲18.6 | ▲13.5 | ▲18.4 |

《採算DI（全産業・前年同月比）の推移》



（参考）

資金繰りDI（前年同月比）の推移

| | 16年 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 先行き見通し 1～3月 |
|------|-----------|-------|-------|-------|-------|-------|----------------|
| 全産業 | ▲12.1 | ▲13.3 | ▲13.2 | ▲13.0 | ▲13.0 | ▲10.6 | ▲12.6 |
| 建設 | ▲8.2 | ▲10.7 | ▲10.4 | ▲9.0 | ▲5.7 | ▲5.1 | ▲9.5 |
| 製造 | ▲10.6 | ▲9.1 | ▲9.7 | ▲9.9 | ▲10.6 | ▲12.1 | ▲9.7 |
| 卸売 | ▲5.0 | ▲6.0 | ▲5.4 | ▲6.0 | ▲11.3 | ▲2.4 | ▲7.3 |
| 小売 | ▲19.9 | ▲23.5 | ▲21.8 | ▲24.7 | ▲23.5 | ▲23.5 | ▲21.4 |
| サービス | ▲12.4 | ▲13.8 | ▲14.4 | ▲12.1 | ▲12.1 | ▲5.3 | ▲12.4 |

DI = (好転の回答割合) - (悪化の回答割合)

【前年同月比DI】全産業合計の資金繰りDIは▲10.6と、前月から改善。産業別にみると、卸売業、サービス業で改善、製造業で悪化、その他の2業種ではほぼ横ばい。

【先行き見通しDI】全産業合計の先行き見通しは、今月と比べ、悪化の見込み。産業別にみると、製造業、小売業で改善、その他の3業種では悪化する見込み。

仕入単価DI（前年同月比）の推移

| | 16年 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 先行き見通し 1～3月 |
|------|-----------|-------|-------|-------|-------|-------|----------------|
| 全産業 | ▲20.8 | ▲17.5 | ▲20.1 | ▲20.9 | ▲25.6 | ▲28.0 | ▲28.4 |
| 建設 | ▲20.8 | ▲15.8 | ▲18.3 | ▲14.6 | ▲21.9 | ▲22.4 | ▲23.9 |
| 製造 | ▲14.3 | ▲8.3 | ▲8.3 | ▲10.1 | ▲14.3 | ▲19.5 | ▲22.3 |
| 卸売 | ▲23.8 | ▲16.9 | ▲24.0 | ▲26.6 | ▲33.1 | ▲31.0 | ▲32.1 |
| 小売 | ▲22.9 | ▲21.8 | ▲25.4 | ▲23.9 | ▲30.4 | ▲29.2 | ▲30.2 |
| サービス | ▲24.5 | ▲24.7 | ▲26.6 | ▲30.7 | ▲32.6 | ▲38.2 | ▲34.6 |

DI = (下落の回答割合) - (上昇の回答割合)

【前年同月比DI】全産業合計の仕入単価DIは▲28.0と、前月から悪化。産業別にみると、卸売業、小売業で改善、建設業でほぼ横ばい、その他の2業種で悪化した。

【先行き見通しDI】全産業合計の先行き見通しは、今月と比べ、ほぼ横ばいの見込み。産業別にみると、サービス業で改善、その他の4業種では悪化する見込み。

従業員DI（前年同月比）の推移

| | 16年 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 先行き見通し 1～3月 |
|------|-----------|------|------|------|------|------|----------------|
| 全産業 | 15.9 | 17.1 | 15.7 | 16.8 | 16.9 | 18.1 | 17.4 |
| 建設 | 15.2 | 21.2 | 17.8 | 19.7 | 22.8 | 20.7 | 23.1 |
| 製造 | 6.8 | 6.3 | 7.5 | 5.5 | 7.2 | 8.1 | 6.8 |
| 卸売 | 10.6 | 9.6 | 9.0 | 10.7 | 10.0 | 9.5 | 11.2 |
| 小売 | 21.2 | 23.3 | 22.6 | 26.0 | 20.6 | 24.0 | 23.3 |
| サービス | 23.3 | 23.4 | 19.4 | 21.2 | 23.3 | 25.6 | 22.3 |

DI = (不足の回答割合) - (過剰の回答割合)

【前年同月比DI】全産業合計の従業員DIは18.1と、前月から人手不足感が強まった。産業別にみると、建設業で人手不足感が弱まり、製造業、卸売業でほぼ横ばい、その他の2業種で人手不足感が強まった。

【先行き見通しDI】全産業合計の先行き見通しは、今月と比べ、ほぼ横ばいの見込み。産業別にみると、製造業、サービス業で人手不足感が弱まり、小売業でほぼ横ばい、その他の2業種で人手不足感が強まる見込み。

2016年12月

| | 売上高 | | 採算 | | 仕入単価 | | 従業員 | | 業況 | | 資金繰り | |
|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------|------|-------|-------|-------|-------|
| | 前年比 | 先行き | 前年比 | 先行き | 前年比 | 先行き | 前年比 | 先行き | 前年比 | 先行き | 前年比 | 先行き |
| 全業種 | | | | | | | | | | | | |
| 全国 | -16.0 | -17.0 | -19.1 | -19.4 | -28.0 | -28.4 | 18.1 | 17.4 | -21.7 | -21.5 | -10.6 | -12.6 |
| 北海道 | -24.5 | -28.1 | -16.7 | -27.8 | -27.5 | -26.0 | 19.6 | 19.8 | -21.6 | -22.7 | -10.9 | -17.5 |
| 東北 | -28.1 | -26.3 | -19.5 | -21.1 | -31.3 | -28.9 | 16.4 | 13.4 | -23.1 | -23.3 | -12.9 | -17.3 |
| 北陸信越 | -23.9 | -35.6 | -26.8 | -35.3 | -27.9 | -27.1 | 13.9 | 12.8 | -23.2 | -31.4 | -14.7 | -19.4 |
| 関東 | -7.4 | -11.3 | -16.7 | -15.9 | -27.6 | -29.5 | 18.4 | 19.2 | -18.1 | -17.3 | -9.6 | -11.7 |
| 東海 | -23.7 | -12.7 | -28.8 | -20.4 | -23.5 | -26.0 | 16.9 | 16.1 | -25.0 | -19.7 | -11.8 | -9.9 |
| 関西 | -17.8 | -17.4 | -21.7 | -18.0 | -29.8 | -30.0 | 19.6 | 18.4 | -28.8 | -23.8 | -9.2 | -7.5 |
| 中国 | -12.1 | -12.2 | -18.4 | -13.4 | -34.0 | -31.3 | 15.2 | 13.3 | -23.2 | -21.4 | -11.3 | -11.7 |
| 四国 | -15.4 | -8.9 | -11.5 | -15.5 | -24.0 | -28.2 | 19.4 | 16.7 | -19.2 | -18.4 | -1.9 | -5.9 |
| 九州 | -8.8 | -13.6 | -11.9 | -15.2 | -28.0 | -26.6 | 23.0 | 22.2 | -18.3 | -23.8 | -13.5 | -15.4 |

| | 売上高 | | 採算 | | 仕入単価 | | 従業員 | | 業況 | | 資金繰り | |
|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------|------|-------|-------|-------|-------|
| | 前年比 | 先行き | 前年比 | 先行き | 前年比 | 先行き | 前年比 | 先行き | 前年比 | 先行き | 前年比 | 先行き |
| 製造 | | | | | | | | | | | | |
| 全国 | -17.3 | -15.9 | -16.8 | -16.1 | -19.5 | -22.3 | 8.1 | 6.8 | -19.6 | -20.6 | -12.1 | -9.7 |
| 北海道 | -33.3 | -35.0 | -9.5 | -25.0 | -23.8 | -10.0 | 23.8 | 20.0 | -28.6 | -20.0 | -4.8 | -15.0 |
| 東北 | -34.4 | -16.1 | -15.6 | -9.7 | -25.0 | -15.6 | 6.3 | 3.1 | -16.1 | -19.4 | -19.4 | -19.4 |
| 北陸信越 | -12.1 | -30.3 | -30.3 | -30.3 | -15.2 | -24.2 | -6.1 | -3.1 | -27.3 | -33.3 | -24.2 | -12.1 |
| 関東 | -9.1 | -17.4 | -11.8 | -18.2 | -15.5 | -23.6 | 10.3 | 10.3 | -9.1 | -17.3 | -10.1 | -12.8 |
| 東海 | -23.9 | -10.9 | -13.0 | -8.7 | -8.7 | -13.3 | 6.5 | 6.5 | -17.4 | -15.2 | -2.2 | -2.2 |
| 関西 | -17.1 | -4.9 | -26.8 | -14.6 | -22.0 | -26.8 | 12.5 | 2.4 | -25.6 | -22.0 | -12.2 | -2.4 |
| 中国 | 6.3 | 3.1 | -9.7 | 0.0 | -38.7 | -41.9 | 6.3 | 12.5 | -21.9 | -9.4 | -9.7 | 0.0 |
| 四国 | -33.3 | -17.2 | -16.7 | -20.0 | -13.3 | -10.0 | 6.9 | 6.9 | -23.3 | -26.7 | -6.7 | -6.7 |
| 九州 | -22.6 | -22.6 | -25.8 | -19.4 | -29.0 | -29.0 | 6.5 | 0.0 | -35.5 | -32.3 | -25.8 | -16.1 |

| | 売上高 | | 採算 | | 仕入単価 | | 従業員 | | 業況 | | 資金繰り | |
|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------|------|-------|-------|-------|-------|
| | 前年比 | 先行き | 前年比 | 先行き | 前年比 | 先行き | 前年比 | 先行き | 前年比 | 先行き | 前年比 | 先行き |
| 小売 | | | | | | | | | | | | |
| 全国 | -35.7 | -28.0 | -35.0 | -31.7 | -29.2 | -30.2 | 24.0 | 23.3 | -38.2 | -34.2 | -23.5 | -21.4 |
| 北海道 | -33.3 | -34.8 | -25.0 | -30.4 | -33.3 | -31.8 | 20.8 | 34.8 | -41.7 | -39.1 | -30.4 | -30.4 |
| 東北 | -32.3 | -19.4 | -35.5 | -29.0 | -19.4 | -25.8 | 12.9 | 10.0 | -48.4 | -35.5 | -34.5 | -30.0 |
| 北陸信越 | -44.4 | -28.0 | -29.6 | -24.0 | -23.1 | -29.2 | 18.5 | 20.0 | -18.5 | -23.1 | -26.9 | -19.2 |
| 関東 | -23.5 | -15.3 | -34.5 | -24.1 | -32.9 | -32.9 | 20.2 | 22.4 | -35.7 | -23.8 | -20.7 | -12.2 |
| 東海 | -62.5 | -43.8 | -46.9 | -43.8 | -40.0 | -32.3 | 34.4 | 34.4 | -50.0 | -43.8 | -23.3 | -16.7 |
| 関西 | -47.6 | -35.7 | -48.8 | -41.5 | -35.9 | -35.9 | 26.2 | 23.8 | -51.2 | -39.5 | -17.1 | -19.5 |
| 中国 | -42.3 | -36.0 | -38.5 | -28.0 | -24.0 | -16.7 | 26.9 | 12.0 | -38.5 | -48.0 | -20.0 | -26.1 |
| 四国 | -20.0 | -24.0 | -20.0 | -32.0 | -32.0 | -40.0 | 36.0 | 28.0 | -20.0 | -32.0 | -16.0 | -28.0 |
| 九州 | -30.0 | -36.7 | -26.7 | -40.0 | -13.3 | -20.0 | 26.7 | 26.7 | -33.3 | -40.0 | -30.0 | -31.0 |

2016年12月

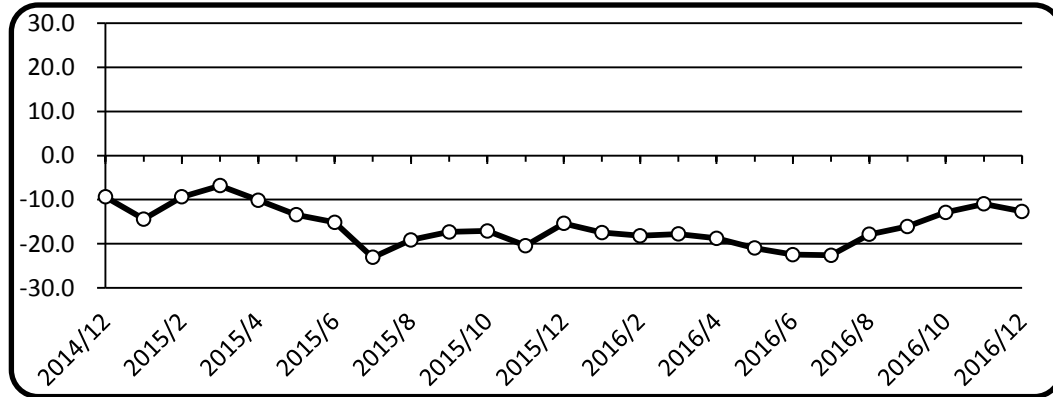
| | 売上高 | | 採算 | | 仕入単価 | | 従業員 | | 業況 | | 資金繰り | |
|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------|------|-------|-------|-------|-------|
| | 前年比 | 先行き | 前年比 | 先行き | 前年比 | 先行き | 前年比 | 先行き | 前年比 | 先行き | 前年比 | 先行き |
| 建設 | | | | | | | | | | | | |
| 全国 | -8.5 | -4.7 | -15.3 | -11.9 | -22.4 | -23.9 | 20.7 | 23.1 | -12.7 | -6.0 | -5.1 | -9.5 |
| 北海道 | -31.8 | -33.3 | -18.2 | -33.3 | -27.3 | -23.8 | 22.7 | 15.0 | -4.5 | -23.8 | 4.5 | -14.3 |
| 東北 | -4.5 | -14.3 | 0.0 | -4.5 | -22.7 | -31.8 | 9.1 | 9.1 | 4.5 | 0.0 | 4.5 | -4.5 |
| 北陸信越 | -21.9 | -25.0 | -37.5 | -34.4 | -31.3 | -19.4 | 31.3 | 28.1 | -21.9 | -15.6 | -12.5 | -19.4 |
| 関東 | -2.8 | 8.5 | -11.3 | -1.4 | -22.5 | -20.0 | 23.9 | 28.6 | -12.7 | 1.4 | -5.6 | -8.7 |
| 東海 | 5.0 | 0.0 | -30.0 | -14.3 | -20.0 | -19.0 | 5.0 | 9.5 | -15.0 | -9.5 | -20.0 | -9.5 |
| 関西 | 4.5 | -4.8 | 0.0 | 0.0 | -9.1 | -18.2 | 22.7 | 31.8 | -9.1 | 4.5 | 0.0 | 0.0 |
| 中国 | 7.7 | 23.1 | -7.7 | 0.0 | -7.7 | -30.8 | 15.4 | 15.4 | -7.7 | 0.0 | 7.7 | -16.7 |
| 四国 | -33.3 | 0.0 | -22.2 | -17.6 | -16.7 | -35.3 | 16.7 | 23.5 | -27.8 | -11.8 | -5.6 | 0.0 |
| 九州 | 0.0 | -5.9 | -5.9 | -11.8 | -35.3 | -35.3 | 23.5 | 29.4 | -17.6 | -11.8 | -11.8 | -11.8 |

| | 売上高 | | 採算 | | 仕入単価 | | 従業員 | | 業況 | | 資金繰り | |
|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------|------|-------|-------|-------|-------|
| | 前年比 | 先行き | 前年比 | 先行き | 前年比 | 先行き | 前年比 | 先行き | 前年比 | 先行き | 前年比 | 先行き |
| 卸売 | | | | | | | | | | | | |
| 全国 | -3.0 | -16.0 | -11.3 | -16.6 | -31.0 | -32.1 | 9.5 | 11.2 | -22.5 | -24.9 | -2.4 | -7.3 |
| 北海道 | 14.3 | 0.0 | -14.3 | -28.6 | -28.6 | -57.1 | 0.0 | 0.0 | -14.3 | -14.3 | 0.0 | 0.0 |
| 東北 | -41.2 | -35.3 | -31.3 | -29.4 | -43.8 | -41.2 | 17.6 | 17.6 | -47.1 | -29.4 | -11.8 | -23.5 |
| 北陸信越 | -28.6 | -35.7 | -14.3 | -42.9 | -42.9 | -21.4 | 7.1 | 7.1 | -42.9 | -42.9 | -7.1 | -15.4 |
| 関東 | 13.3 | -10.0 | -6.7 | -5.0 | -25.0 | -35.0 | 13.3 | 16.7 | -13.3 | -16.7 | 1.7 | -1.7 |
| 東海 | -26.7 | -26.7 | -46.7 | -46.7 | -20.0 | -33.3 | 6.7 | 0.0 | -40.0 | -46.7 | -26.7 | -26.7 |
| 関西 | 4.8 | -14.3 | 4.8 | 4.8 | -42.9 | -33.3 | 0.0 | 0.0 | -14.3 | -19.0 | 4.8 | 0.0 |
| 中国 | -10.0 | -20.0 | 0.0 | -10.0 | -10.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | -10.0 | -40.0 | -20.0 | -20.0 |
| 四国 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | -30.0 | -40.0 | -40.0 | 10.0 | 0.0 | -30.0 | -10.0 | 10.0 | 11.1 |
| 九州 | 6.7 | -6.7 | -6.7 | -13.3 | -33.3 | -21.4 | 13.3 | 33.3 | -13.3 | -26.7 | 13.3 | 0.0 |

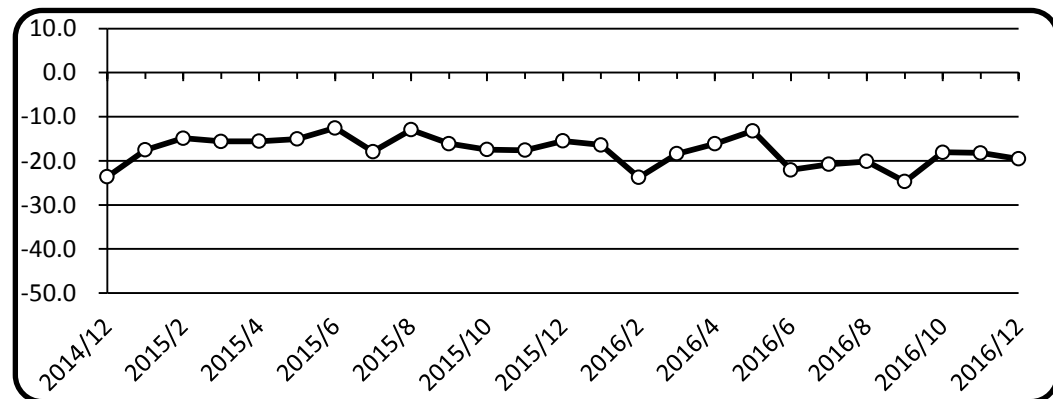
| | 売上高 | | 採算 | | 仕入単価 | | 従業員 | | 業況 | | 資金繰り | |
|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------|------|-------|-------|-------|-------|
| | 前年比 | 先行き | 前年比 | 先行き | 前年比 | 先行き | 前年比 | 先行き | 前年比 | 先行き | 前年比 | 先行き |
| サービス | | | | | | | | | | | | |
| 全国 | -8.0 | -16.9 | -13.5 | -18.4 | -38.2 | -34.6 | 25.6 | 22.3 | -14.6 | -19.6 | -5.3 | -12.4 |
| 北海道 | -14.3 | -20.0 | -14.3 | -23.1 | -25.0 | -26.9 | 17.9 | 15.4 | -14.3 | -11.5 | -14.3 | -15.4 |
| 東北 | -27.3 | -45.5 | -15.6 | -31.3 | -48.5 | -36.4 | 34.4 | 27.3 | -12.1 | -27.3 | 0.0 | -9.1 |
| 北陸信越 | -18.8 | -58.1 | -15.6 | -46.9 | -35.5 | -38.7 | 16.1 | 10.0 | -15.6 | -46.9 | 0.0 | -29.0 |
| 関東 | -7.7 | -15.4 | -17.1 | -22.2 | -39.8 | -35.4 | 23.7 | 20.9 | -19.7 | -24.3 | -9.4 | -17.1 |
| 東海 | -7.0 | 7.0 | -25.6 | -9.3 | -31.0 | -35.7 | 24.4 | 22.0 | -14.0 | -2.3 | -4.9 | -7.3 |
| 関西 | -10.8 | -19.4 | -13.2 | -18.9 | -36.8 | -32.4 | 28.9 | 32.4 | -26.3 | -27.0 | -10.5 | -8.1 |
| 中国 | -16.7 | -27.8 | -22.2 | -27.8 | -72.2 | -50.0 | 22.2 | 22.2 | -22.2 | -11.1 | -11.1 | -5.6 |
| 四国 | 23.8 | 9.5 | 9.5 | 19.0 | -28.6 | -28.6 | 23.8 | 19.0 | 0.0 | 0.0 | 19.0 | 9.5 |
| 九州 | 12.1 | 9.4 | 9.1 | 9.4 | -34.4 | -28.1 | 39.4 | 30.3 | 9.1 | -6.1 | 0.0 | -9.4 |

業況DI（前年同月比）の推移（全国）

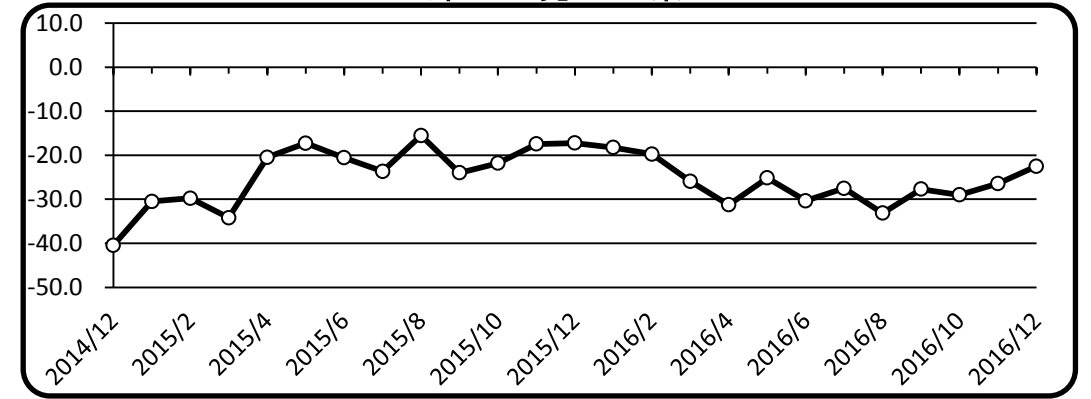
建設業



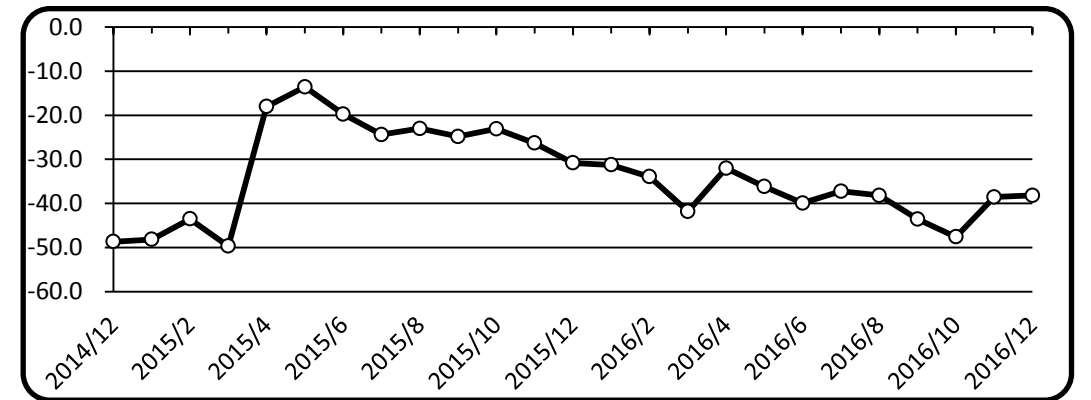
製造業



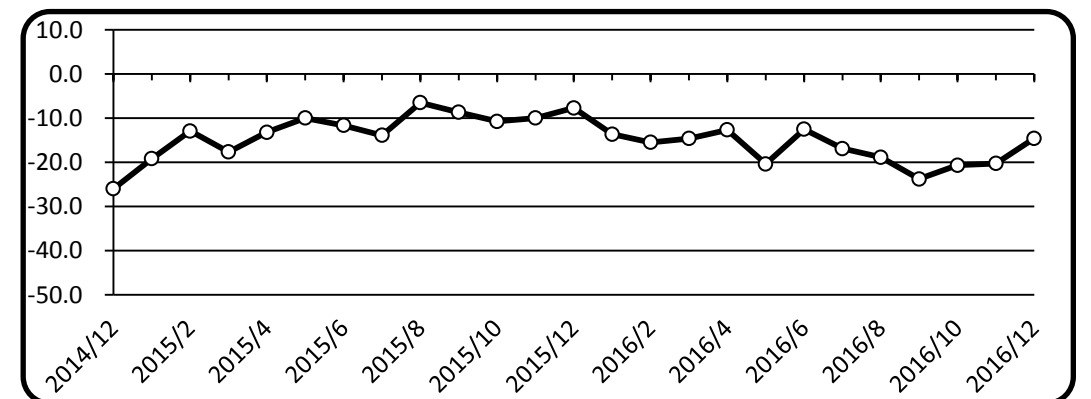
卸売業



小売業



サービス業



【ブロック別概況・北海道】

○全産業の業況DIは、前月と比べ改善。産業別にみると、建設業、卸売業、サービス業で改善、その他の2業種で悪化した。各業種から寄せられたコメントは以下のとおり。

○「例年、おせち料理の需要から売上が増加する時期だが、鮭の不漁による仕入価格上昇で、売上、採算ともに悪化した」（水産食料品製造業）、「8月の台風被害による災害復旧工事の受注が多く、売上は改善した。今後もしばらくは案件があり、売上は堅調に推移する見通し」（一般工事業）、「仕出し料理の受注は減少しているものの、観光客や建設工事関連の宿泊は堅調に推移し、売上は安定している」（宿泊業）

○業況の先行き見通しDIは、全産業では今月と比べ悪化する見込み。産業別にみると、建設業で悪化、卸売業で横ばい、その他の3業種で改善する見込み。

全産業DI（前年同月比）の推移

| | 16年 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 先行き見通し 1~3月 |
|------|-----------|--------|--------|--------|--------|--------|----------------|
| 業況 | ▲ 22.5 | ▲ 23.2 | ▲ 21.0 | ▲ 20.2 | ▲ 26.0 | ▲ 21.6 | ▲ 22.7 |
| 売上 | ▲ 18.6 | ▲ 22.3 | ▲ 19.8 | ▲ 17.0 | ▲ 27.1 | ▲ 24.5 | ▲ 28.1 |
| 採算 | ▲ 16.7 | ▲ 15.2 | ▲ 16.0 | ▲ 18.1 | ▲ 14.6 | ▲ 16.7 | ▲ 27.8 |
| 資金繰り | ▲ 2.9 | ▲ 10.7 | ▲ 11.4 | ▲ 8.6 | ▲ 6.3 | ▲ 10.9 | ▲ 17.5 |
| 仕入単価 | ▲ 23.5 | ▲ 19.6 | ▲ 24.0 | ▲ 21.3 | ▲ 21.9 | ▲ 27.5 | ▲ 26.0 |
| 従業員 | 16.7 | 25.0 | 16.2 | 22.3 | 15.6 | 19.6 | 19.8 |

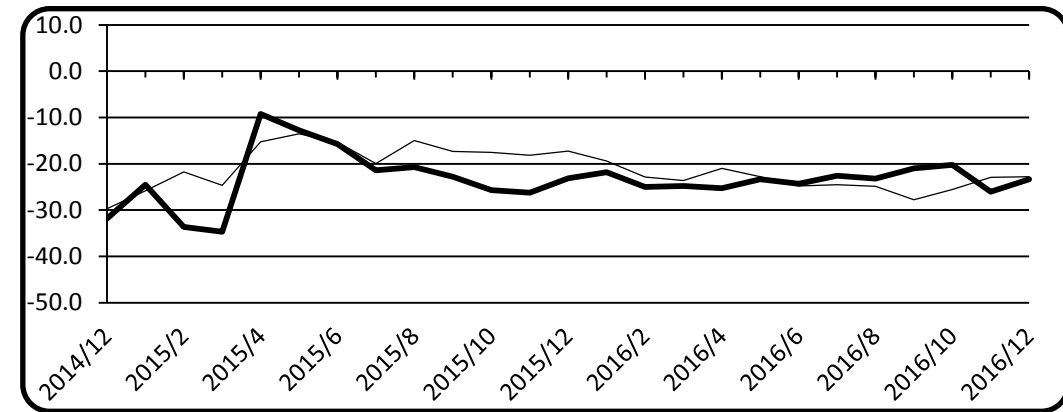
産業別業況DI（前年同月比）の推移

| | 16年 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 先行き見通し 1~3月 |
|------|-----------|--------|--------|--------|--------|--------|----------------|
| 建設 | ▲ 27.3 | ▲ 18.2 | ▲ 20.8 | ▲ 18.2 | ▲ 15.0 | ▲ 4.5 | ▲ 23.8 |
| 製造 | ▲ 41.7 | ▲ 36.0 | ▲ 25.0 | ▲ 15.0 | ▲ 18.2 | ▲ 28.6 | ▲ 20.0 |
| 卸売 | ▲ 50.0 | ▲ 50.0 | ▲ 10.0 | ▲ 66.7 | ▲ 20.0 | ▲ 14.3 | ▲ 14.3 |
| 小売 | ▲ 23.8 | ▲ 42.9 | ▲ 33.3 | ▲ 42.1 | ▲ 38.1 | ▲ 41.7 | ▲ 39.1 |
| サービス | 7.4 | 2.9 | ▲ 13.3 | 0.0 | ▲ 32.1 | ▲ 14.3 | ▲ 11.5 |

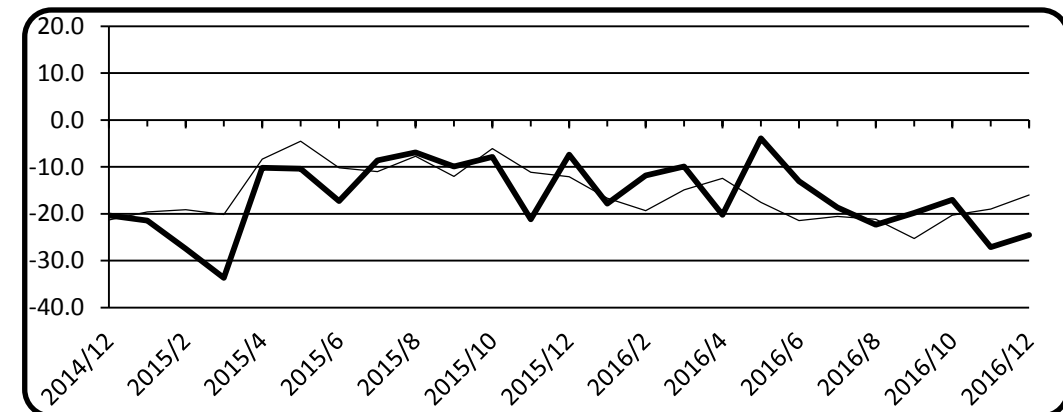
ブロック別全産業DI（前年同月比）の推移（北海道）

—— 北海道 —— 全国

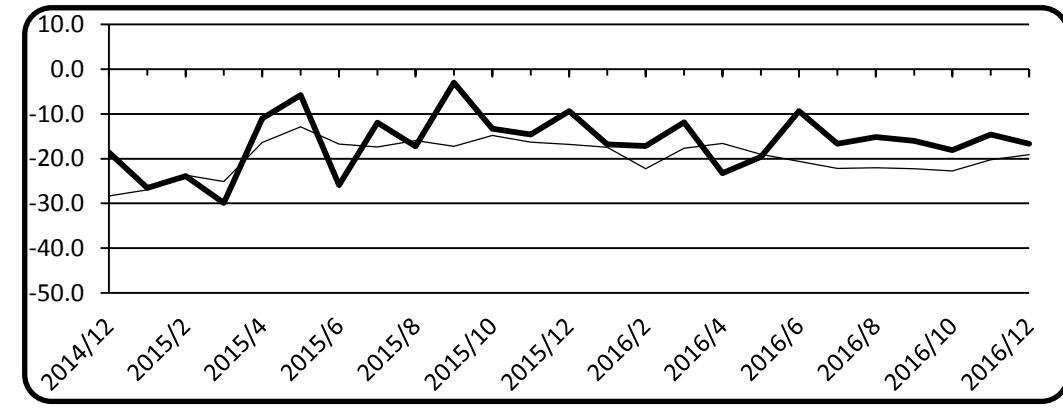
業況



売上



採算



【ブロック別概況・東北】

- 全産業の業況DIは、前月と比べ改善。産業別にみると、建設業、製造業、サービス業で改善、その他の2業種で悪化した。各業種から寄せられたコメントは以下のとおり。
- 「小売店の廃業があったものの、新規出店した飲食業と取引でき、売上の減少をカバーできた。ただし、同業他社の新規参入が多く、競争が激化しているため、業況感は改善しない」（食料品卸売業）、「最近外国人宿泊客数が増加しつつあり、売上は堅調である。県などが誘致活動を進めているので、今後も更なる客数の増加が期待できる」（宿泊業）、「年末に向けて客入りは好調で、売上は改善した。しかし、パート、アルバイトの人手不足は非常に深刻で、繁忙期となる年末年始の営業活動に影響が出ないか不安である」（総合スーパー）
- 業況の先行き見通しDIは、全産業では今月と比べほぼ横ばいの見込み。産業別にみると、卸売業、小売業で改善、その他の3業種で悪化する見込み。

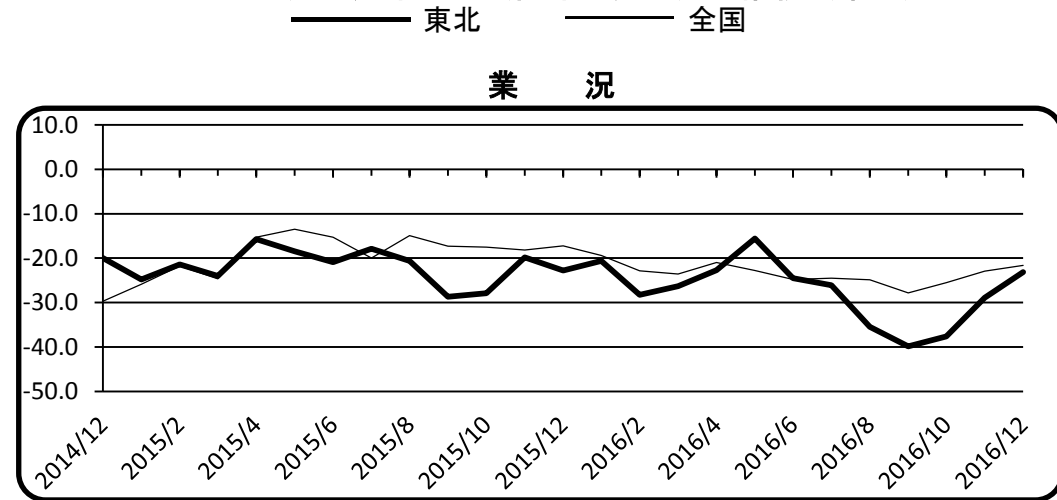
全産業DI（前年同月比）の推移

| | 16年 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 先行き見通し 1～3月 |
|------|-----------|--------|--------|--------|--------|--------|----------------|
| 業況 | ▲ 26.1 | ▲ 35.4 | ▲ 39.8 | ▲ 37.6 | ▲ 28.9 | ▲ 23.1 | ▲ 23.3 |
| 売上 | ▲ 29.1 | ▲ 27.1 | ▲ 33.9 | ▲ 33.6 | ▲ 21.9 | ▲ 28.1 | ▲ 26.3 |
| 採算 | ▲ 22.0 | ▲ 28.1 | ▲ 26.0 | ▲ 29.8 | ▲ 21.9 | ▲ 19.5 | ▲ 21.1 |
| 資金繰り | ▲ 15.8 | ▲ 17.1 | ▲ 17.5 | ▲ 22.8 | ▲ 12.5 | ▲ 12.9 | ▲ 17.3 |
| 仕入単価 | ▲ 21.6 | ▲ 20.9 | ▲ 29.7 | ▲ 25.6 | ▲ 32.0 | ▲ 31.3 | ▲ 28.9 |
| 従業員 | 22.4 | 21.7 | 19.5 | 13.6 | 19.5 | 16.4 | 13.4 |

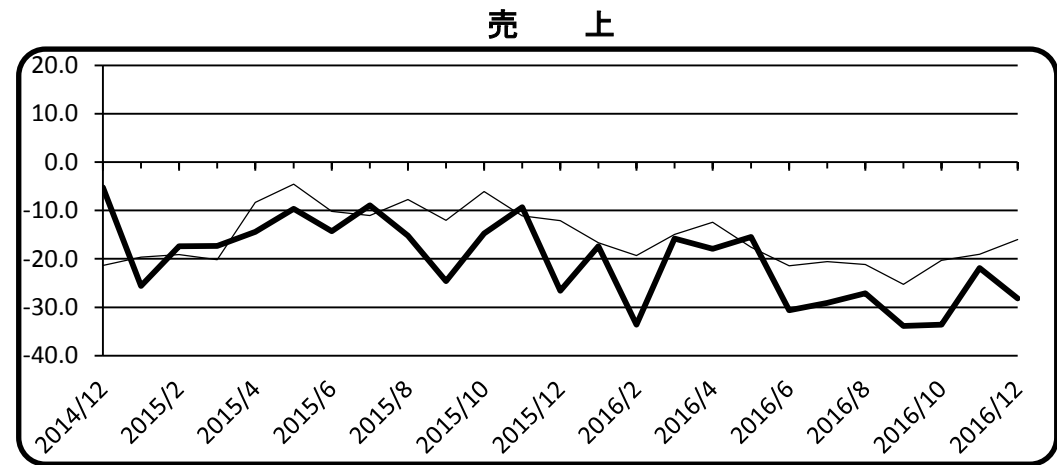
産業別業況DI（前年同月比）の推移

| | 16年 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 先行き見通し 1～3月 |
|------|-----------|--------|--------|--------|--------|--------|----------------|
| 建設 | ▲ 15.0 | ▲ 20.0 | ▲ 9.1 | 0.0 | 0.0 | 4.5 | 0.0 |
| 製造 | ▲ 30.3 | ▲ 34.4 | ▲ 41.4 | ▲ 46.7 | ▲ 37.5 | ▲ 16.1 | ▲ 19.4 |
| 卸売 | ▲ 33.3 | ▲ 33.3 | ▲ 46.7 | ▲ 28.6 | ▲ 40.0 | ▲ 47.1 | ▲ 29.4 |
| 小売 | ▲ 36.7 | ▲ 53.3 | ▲ 58.6 | ▲ 59.4 | ▲ 46.4 | ▲ 48.4 | ▲ 35.5 |
| サービス | ▲ 16.7 | ▲ 30.0 | ▲ 39.4 | ▲ 37.0 | ▲ 20.0 | ▲ 12.1 | ▲ 27.3 |

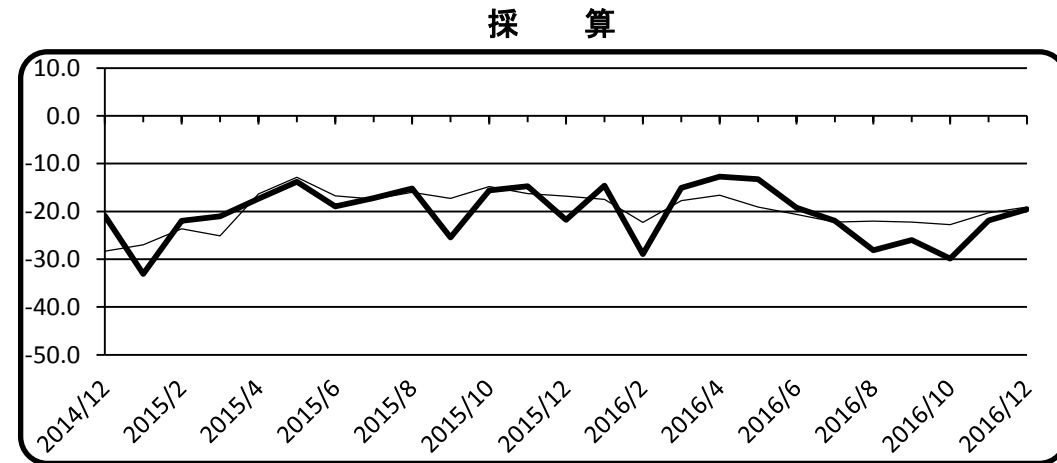
ブロック別全産業DI（前年同月比）の推移（東北）



業況



売上



採算

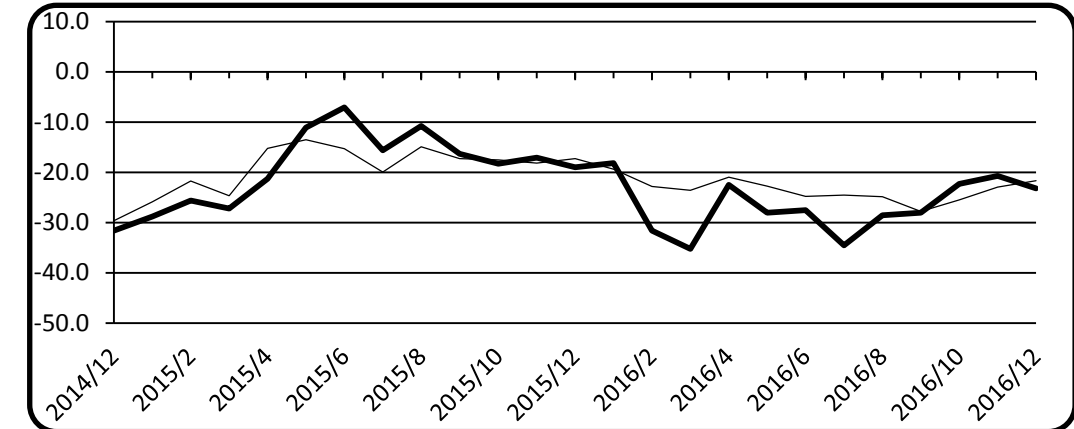
【ブロック別概況・北陸信越】

- 全産業の業況DIは、前月と比べ悪化。産業別にみると、建設業、製造業、卸売業で悪化、その他の2業種で改善した。各業種から寄せられたコメントは以下のとおり。
- 「大手メーカーでは鉄鋼価格の値上げが進められているが、依然として同業者との競争が厳しく、上昇分を価格に転嫁できない。このまま転嫁できなければ、ますます採算は圧迫される」（金属加工業）、「忘年会プランの反応が良好なほか、例年より早く積雪があることでスキー客の入りも好調だ」（飲食業）、「客数および客単価ともに減少したことで、売上は悪化した。高額品に対する消費者の節約志向は未だに根強いと感じる」（宝飾品小売業）
- 業況の先行き見通しDIは、全産業では今月と比べ悪化する見込み。産業別にみると、建設業で改善、卸売業で横ばい、その他の3業種で悪化する見込み。

ブロック別全産業DI（前年同月比）の推移（北陸信越）

—— 北陸信越 —— 全国

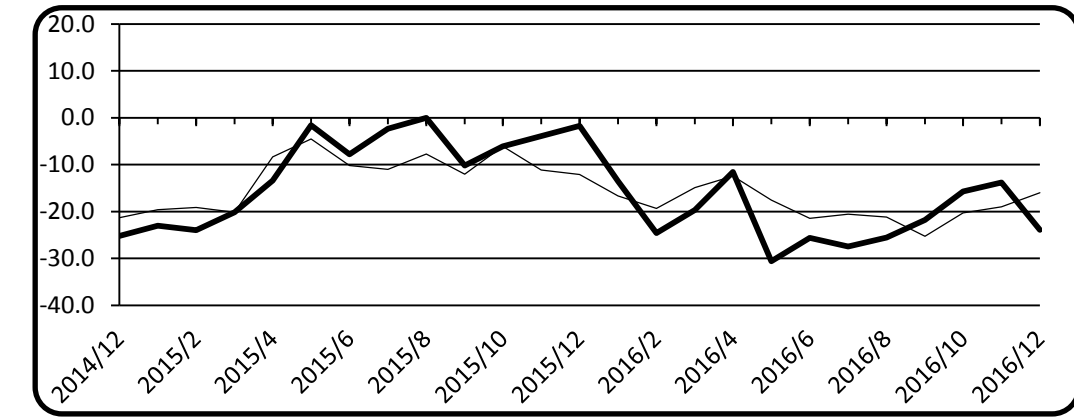
業 況



全産業DI（前年同月比）の推移

| | 16年 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 先行き見通し 1～3月 |
|------|-----------|--------|--------|--------|--------|--------|----------------|
| 業況 | ▲ 34.5 | ▲ 28.6 | ▲ 28.0 | ▲ 22.3 | ▲ 20.7 | ▲ 23.2 | ▲ 31.4 |
| 売上 | ▲ 27.4 | ▲ 25.6 | ▲ 21.8 | ▲ 15.7 | ▲ 13.8 | ▲ 23.9 | ▲ 35.6 |
| 採算 | ▲ 30.4 | ▲ 30.3 | ▲ 27.1 | ▲ 25.8 | ▲ 13.2 | ▲ 26.8 | ▲ 35.3 |
| 資金繰り | ▲ 20.4 | ▲ 18.0 | ▲ 16.3 | ▲ 13.2 | ▲ 13.0 | ▲ 14.7 | ▲ 19.4 |
| 仕入単価 | ▲ 21.2 | ▲ 21.2 | ▲ 21.1 | ▲ 28.6 | ▲ 27.8 | ▲ 27.9 | ▲ 27.1 |
| 従業員 | 6.1 | 9.0 | 7.5 | 9.0 | 9.6 | 13.9 | 12.8 |

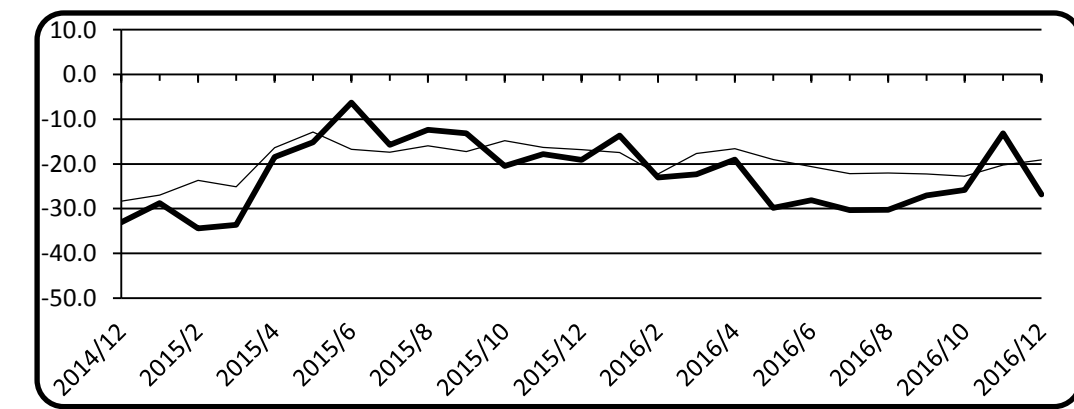
売 上



産業別業況DI（前年同月比）の推移

| | 16年 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 先行き見通し 1～3月 |
|------|-----------|--------|--------|--------|--------|--------|----------------|
| 建設 | ▲ 48.0 | ▲ 27.6 | ▲ 29.6 | ▲ 26.9 | ▲ 13.0 | ▲ 21.9 | ▲ 15.6 |
| 製造 | ▲ 27.6 | ▲ 32.3 | ▲ 41.2 | ▲ 15.2 | ▲ 25.8 | ▲ 27.3 | ▲ 33.3 |
| 卸売 | ▲ 46.2 | ▲ 35.7 | ▲ 23.1 | ▲ 28.6 | ▲ 7.7 | ▲ 42.9 | ▲ 42.9 |
| 小売 | ▲ 34.8 | ▲ 27.6 | ▲ 29.0 | ▲ 26.1 | ▲ 20.8 | ▲ 18.5 | ▲ 23.1 |
| サービス | ▲ 21.7 | ▲ 23.3 | ▲ 11.1 | ▲ 20.0 | ▲ 28.0 | ▲ 15.6 | ▲ 46.9 |

採 算



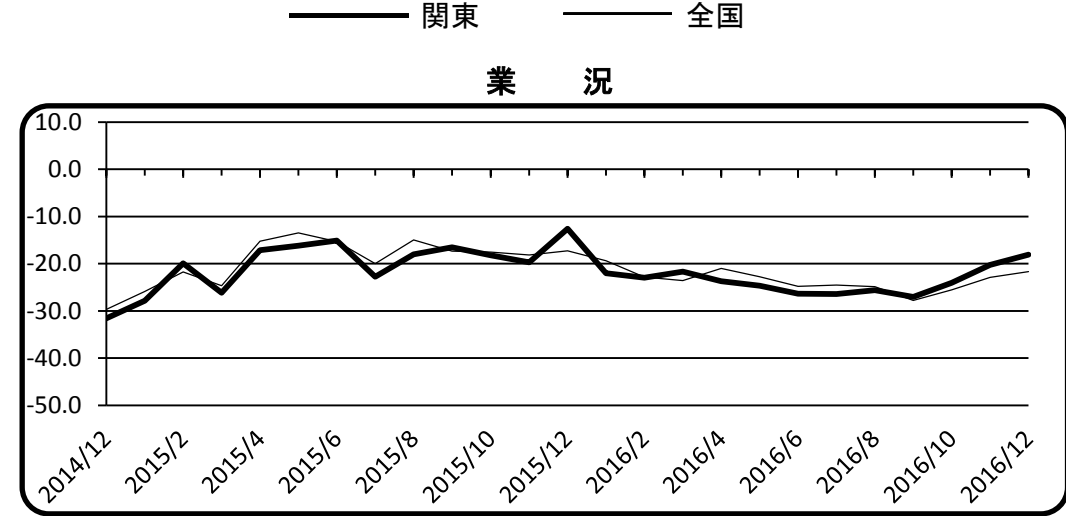
【ブロック別概況・関東】

○全産業の業況DIは、前月と比べ改善。産業別にみると、製造業、卸売業、小売業で改善、その他の2業種で悪化した。各業種から寄せられたコメントは以下のとおり。

○「中国などからの需要が多く、売上は改善した。円安が進行しているため、今後は更なる売上の改善が期待できそうだ」（半導体装置製造業）、「気温の低下に加え、賞与の支給により消費者の購買意欲が刺激され、冬物衣料の売上が少し上向いた。ただし、低価格品のまとめ買いがほとんどであり、高額品の売上は低調」（衣料品小売業）、「最低賃金が上昇しているものの、顧客離れの懸念から、価格には転嫁できず、採算は悪化した」（ビルメンテナンス）

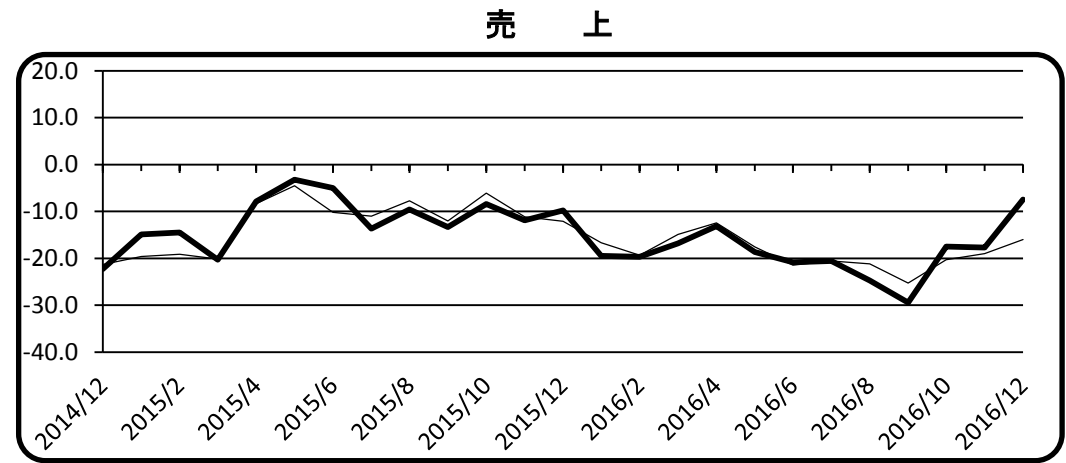
○業況の先行き見通しDIは、全産業では今月と比べほぼ横ばいの見込み。産業別にみると、建設業、小売業で改善、その他の3業種で悪化する見込み。

ブロック別全産業DI（前年同月比）の推移（関東）



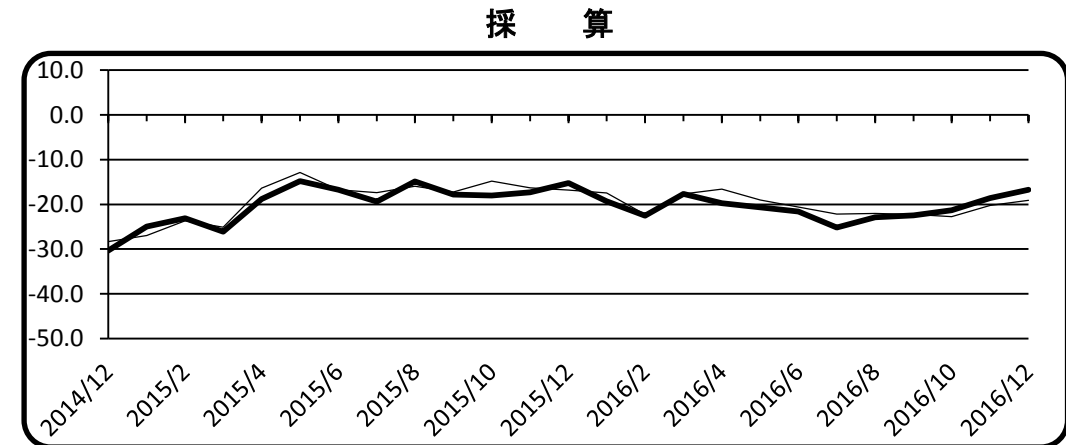
全産業DI（前年同月比）の推移

| | 16年 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 先行き見通し 1～3月 |
|------|-----------|--------|--------|--------|--------|--------|----------------|
| 業況 | ▲ 26.4 | ▲ 25.6 | ▲ 27.0 | ▲ 24.1 | ▲ 20.2 | ▲ 18.1 | ▲ 17.3 |
| 売上 | ▲ 20.5 | ▲ 24.7 | ▲ 29.5 | ▲ 17.5 | ▲ 17.7 | ▲ 7.4 | ▲ 11.3 |
| 採算 | ▲ 25.2 | ▲ 22.9 | ▲ 22.5 | ▲ 21.3 | ▲ 18.6 | ▲ 16.7 | ▲ 15.9 |
| 資金繰り | ▲ 13.1 | ▲ 12.2 | ▲ 11.0 | ▲ 12.7 | ▲ 14.0 | ▲ 9.6 | ▲ 11.7 |
| 仕入単価 | ▲ 20.9 | ▲ 15.9 | ▲ 19.5 | ▲ 19.5 | ▲ 26.2 | ▲ 27.6 | ▲ 29.5 |
| 従業員 | 15.6 | 14.8 | 16.4 | 17.4 | 17.0 | 18.4 | 19.2 |



産業別業況DI（前年同月比）の推移

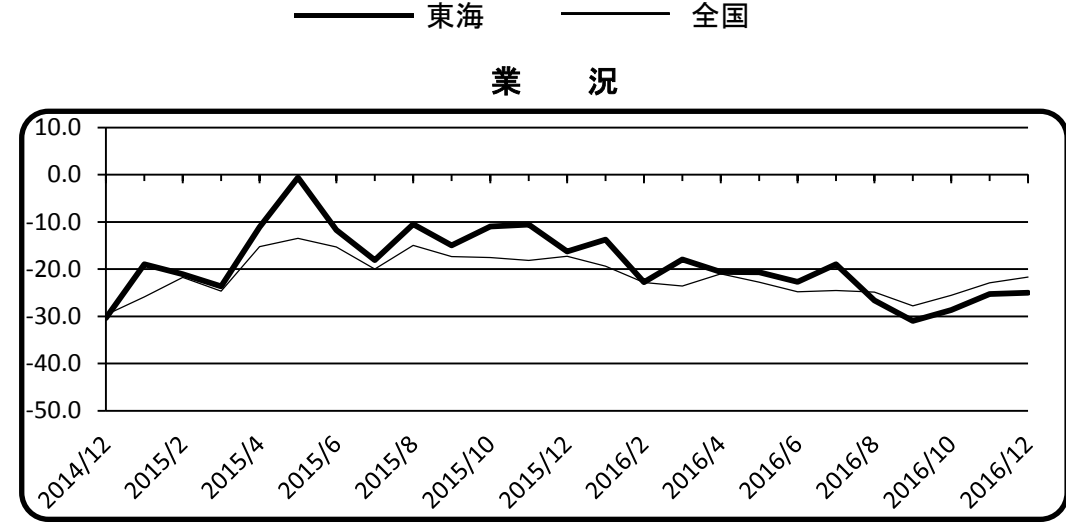
| | 16年 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 先行き見通し 1～3月 |
|------|-----------|--------|--------|--------|--------|--------|----------------|
| 建設 | ▲ 21.1 | ▲ 13.9 | ▲ 16.4 | ▲ 13.0 | ▲ 5.6 | ▲ 12.7 | 1.4 |
| 製造 | ▲ 22.1 | ▲ 14.7 | ▲ 18.5 | ▲ 6.8 | ▲ 13.5 | ▲ 9.1 | ▲ 17.3 |
| 卸売 | ▲ 16.0 | ▲ 34.0 | ▲ 25.9 | ▲ 28.8 | ▲ 22.4 | ▲ 13.3 | ▲ 16.7 |
| 小売 | ▲ 41.4 | ▲ 41.0 | ▲ 39.6 | ▲ 44.2 | ▲ 41.1 | ▲ 35.7 | ▲ 23.8 |
| サービス | ▲ 26.7 | ▲ 28.6 | ▲ 31.3 | ▲ 28.8 | ▲ 18.4 | ▲ 19.7 | ▲ 24.3 |



【ブロック別概況・東海】

- 全産業の業況DIは、前月と比べほぼ横ばい。産業別にみると、建設業、卸売業、サービス業で改善、その他の2業種で悪化した。各業種から寄せられたコメントは以下のとおり。
- 「前年に比べ客数が少なく、冬物衣料の動きが鈍い。年明けにセールを行う予定だが、売上が回復するか不安だ」（衣料品小売業）、「年末商戦などの配送需要は高まっており、売上は改善した。ドライバー不足は深刻なので、慎重に案件を見定めていく」（運送業）、「採算は横ばいを維持しているが、輸入品を多く取り扱っていることもあり、今後は円安による仕入単価上昇が懸念される」（日用品等卸売業）
- 業況の先行き見通しDIは、全産業では今月と比べ改善する見込み。産業別にみると、卸売業で悪化、その他の4業種で改善する見込み。

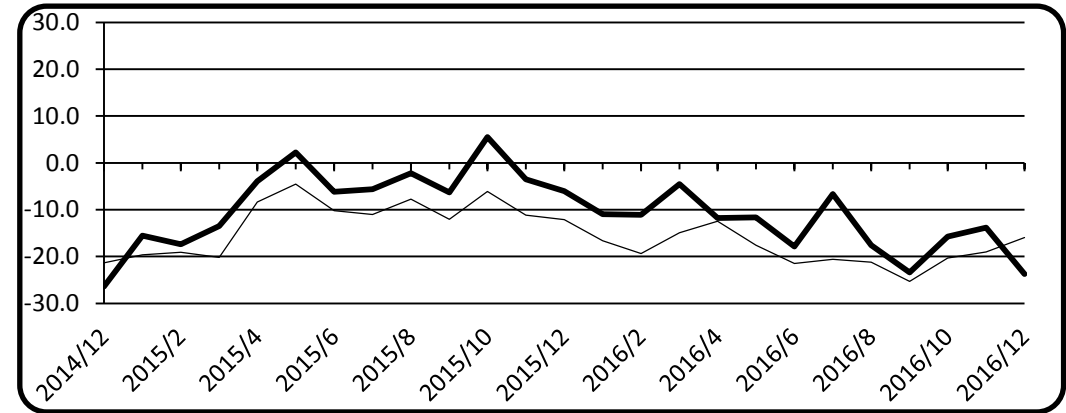
ブロック別全産業DI（前年同月比）の推移（東海）



全産業DI（前年同月比）の推移

| | 16年 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 先行き見通し 1～3月 |
|------|-----------|--------|--------|--------|--------|--------|----------------|
| 業況 | ▲ 19.0 | ▲ 26.6 | ▲ 31.0 | ▲ 28.7 | ▲ 25.3 | ▲ 25.0 | ▲ 19.7 |
| 売上 | ▲ 6.7 | ▲ 17.6 | ▲ 23.4 | ▲ 15.7 | ▲ 13.8 | ▲ 23.7 | ▲ 12.7 |
| 採算 | ▲ 16.9 | ▲ 23.9 | ▲ 22.9 | ▲ 29.1 | ▲ 31.6 | ▲ 28.8 | ▲ 20.4 |
| 資金繰り | ▲ 4.0 | ▲ 11.9 | ▲ 15.9 | ▲ 9.6 | ▲ 16.0 | ▲ 11.8 | ▲ 9.9 |
| 仕入単価 | ▲ 15.3 | ▲ 9.2 | ▲ 13.7 | ▲ 15.7 | ▲ 19.9 | ▲ 23.5 | ▲ 26.0 |
| 従業員 | 18.9 | 17.0 | 15.9 | 17.5 | 14.5 | 16.9 | 16.1 |

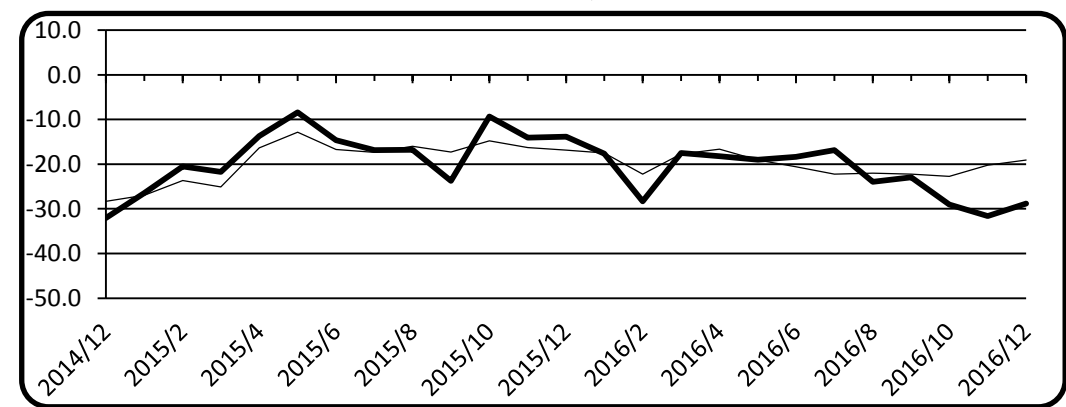
売上



産業別業況DI（前年同月比）の推移

| | 16年 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 先行き見通し 1～3月 |
|------|-----------|--------|--------|--------|--------|--------|----------------|
| 建設 | ▲ 20.8 | ▲ 11.1 | ▲ 11.5 | ▲ 16.7 | ▲ 20.8 | ▲ 15.0 | ▲ 9.5 |
| 製造 | ▲ 12.5 | ▲ 20.7 | ▲ 22.2 | ▲ 11.3 | ▲ 16.1 | ▲ 17.4 | ▲ 15.2 |
| 卸売 | ▲ 44.4 | ▲ 44.4 | ▲ 35.0 | ▲ 47.4 | ▲ 46.7 | ▲ 40.0 | ▲ 46.7 |
| 小売 | ▲ 42.9 | ▲ 44.4 | ▲ 63.6 | ▲ 66.7 | ▲ 37.5 | ▲ 50.0 | ▲ 43.8 |
| サービス | ▲ 3.8 | ▲ 22.4 | ▲ 26.3 | ▲ 23.1 | ▲ 23.4 | ▲ 14.0 | ▲ 2.3 |

採算



【ブロック別概況・関西】

- 全産業の業況DIは、前月と比べ悪化。産業別にみると、建設業、卸売業で改善、その他の3業種で悪化した。各業種から寄せられたコメントは以下のとおり。
- 「客単価の減少が続いているため、客数増加を目的にイベントやタイムセールなどの販促を実施。売上は前年比横ばいを維持している」（日用雑貨小売業）、「日本各地の地震により、瓦が落下してしまっているため、需要の減少が止まらない。業績が回復する見通しが立たない」（窯業・土石）、「このまま売上の改善が進めば、従業員が高齢化しているため、新規採用を実施したい」（食料品卸売業）
- 業況の先行き見通しDIは、全産業では今月と比べ改善する見込み。産業別にみると、卸売業で悪化、サービス業でほぼ横ばい、その他の3業種で改善する見込み。

全産業DI（前年同月比）の推移

| | 16年 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 先行き見通し 1～3月 |
|------|-----------|--------|--------|--------|--------|--------|----------------|
| 業況 | ▲ 20.5 | ▲ 23.1 | ▲ 31.7 | ▲ 32.1 | ▲ 25.9 | ▲ 28.8 | ▲ 23.8 |
| 売上 | ▲ 18.1 | ▲ 20.8 | ▲ 26.4 | ▲ 29.3 | ▲ 24.1 | ▲ 17.8 | ▲ 17.4 |
| 採算 | ▲ 22.4 | ▲ 23.1 | ▲ 25.9 | ▲ 28.0 | ▲ 20.1 | ▲ 21.7 | ▲ 18.0 |
| 資金繰り | ▲ 6.5 | ▲ 7.1 | ▲ 8.7 | ▲ 9.8 | ▲ 8.9 | ▲ 9.2 | ▲ 7.5 |
| 仕入単価 | ▲ 24.4 | ▲ 17.5 | ▲ 19.9 | ▲ 19.5 | ▲ 25.0 | ▲ 29.8 | ▲ 30.0 |
| 従業員 | 17.1 | 18.6 | 17.2 | 18.2 | 17.1 | 19.6 | 18.4 |

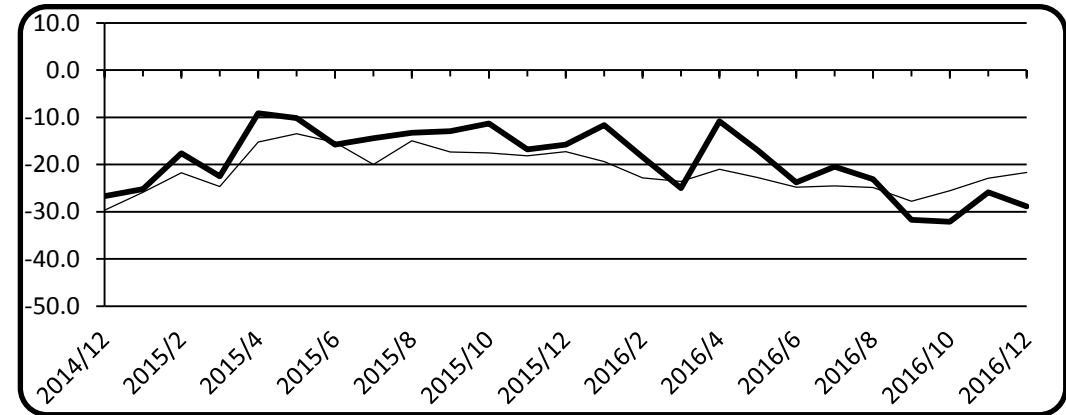
産業別業況DI（前年同月比）の推移

| | 16年 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 先行き見通し 1～3月 |
|------|-----------|--------|--------|--------|--------|--------|----------------|
| 建設 | ▲ 5.0 | ▲ 13.6 | 0.0 | 4.8 | ▲ 18.2 | ▲ 9.1 | 4.5 |
| 製造 | ▲ 14.3 | ▲ 9.1 | ▲ 21.1 | ▲ 28.2 | ▲ 11.6 | ▲ 25.6 | ▲ 22.0 |
| 卸売 | ▲ 17.4 | ▲ 17.4 | ▲ 22.7 | ▲ 18.2 | ▲ 31.8 | ▲ 14.3 | ▲ 19.0 |
| 小売 | ▲ 26.7 | ▲ 31.9 | ▲ 57.8 | ▲ 64.3 | ▲ 48.8 | ▲ 51.2 | ▲ 39.5 |
| サービス | ▲ 29.3 | ▲ 37.8 | ▲ 32.5 | ▲ 29.3 | ▲ 17.5 | ▲ 26.3 | ▲ 27.0 |

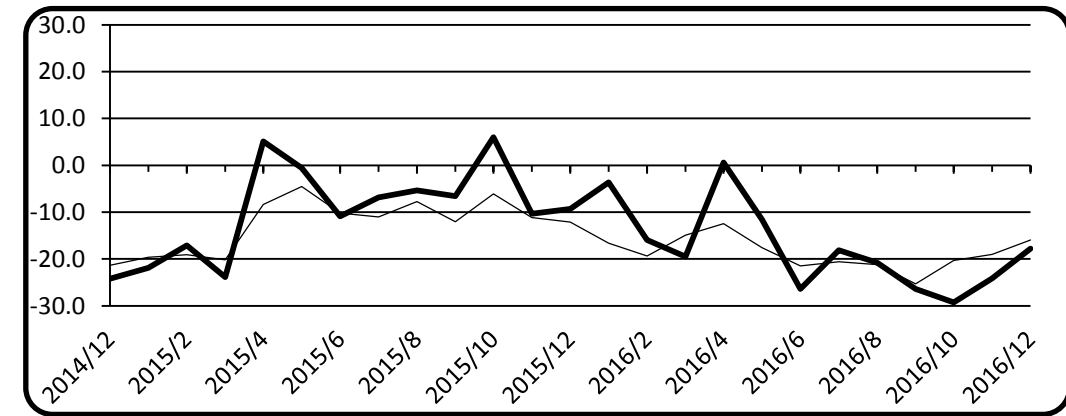
ブロック別全産業DI（前年同月比）の推移（関西）

——— 関西 —— 全国

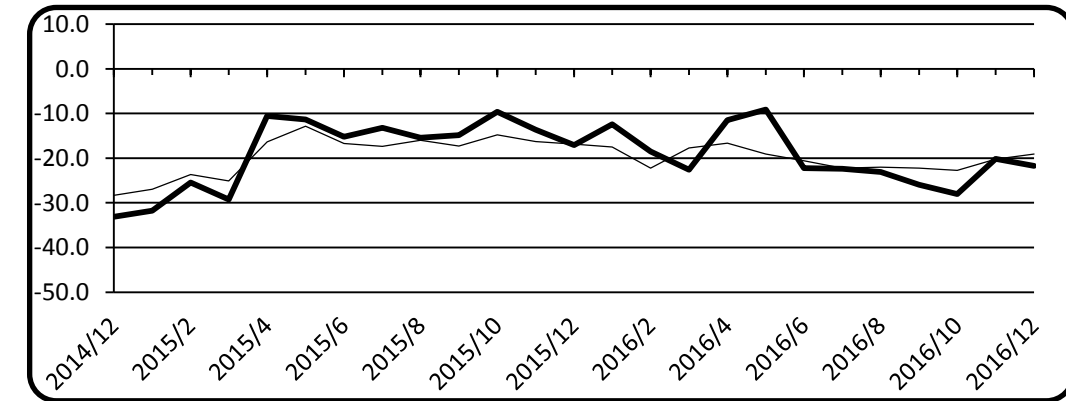
業況



売上



採算



【ブロック別概況・中国】

- 全産業の業況DIは、前月と比べ悪化。産業別にみると、卸売業で改善、建設業で横ばい、その他の3業種で悪化した。各業種から寄せられたコメントは以下のとおり。
- 「公共工事の発注には一服感が出ているが、民間工事では、住宅などで動きが見られるため、全体の売上は前年に比べ、改善した」（一般工事業）、「鳥取県中部地震による旅館の被害は軽微だったものの、宿泊のキャンセルなどにより客足は戻らず、売上は悪化した」（宿泊業）、「出荷先である小売店の販売数に落ち込みが見られ、売上は悪化した。今後は、新たな販売先を開拓するための営業を強化せねばならない」（菓子製造業）
- 業況の先行き見通しDIは、全産業では今月と比べ改善する見込み。産業別にみると、建設業、製造業、サービス業で改善、その他の2業種で悪化する見込み。

全産業DI（前年同月比）の推移

| | 16年 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 先行き見通し 1～3月 |
|------|-----------|--------|--------|--------|--------|--------|----------------|
| 業況 | ▲ 18.6 | ▲ 18.5 | ▲ 21.6 | ▲ 21.2 | ▲ 16.3 | ▲ 23.2 | ▲ 21.4 |
| 売上 | ▲ 18.6 | ▲ 18.5 | ▲ 22.7 | ▲ 17.2 | ▲ 10.9 | ▲ 12.1 | ▲ 12.2 |
| 採算 | ▲ 13.7 | ▲ 17.8 | ▲ 14.4 | ▲ 5.1 | ▲ 17.6 | ▲ 18.4 | ▲ 13.4 |
| 資金繰り | ▲ 10.5 | ▲ 13.2 | ▲ 12.5 | ▲ 12.4 | ▲ 6.7 | ▲ 11.3 | ▲ 11.7 |
| 仕入単価 | ▲ 14.7 | ▲ 16.0 | ▲ 9.4 | ▲ 14.3 | ▲ 18.0 | ▲ 34.0 | ▲ 31.3 |
| 従業員 | 13.5 | 21.3 | 20.6 | 17.2 | 15.1 | 15.2 | 13.3 |

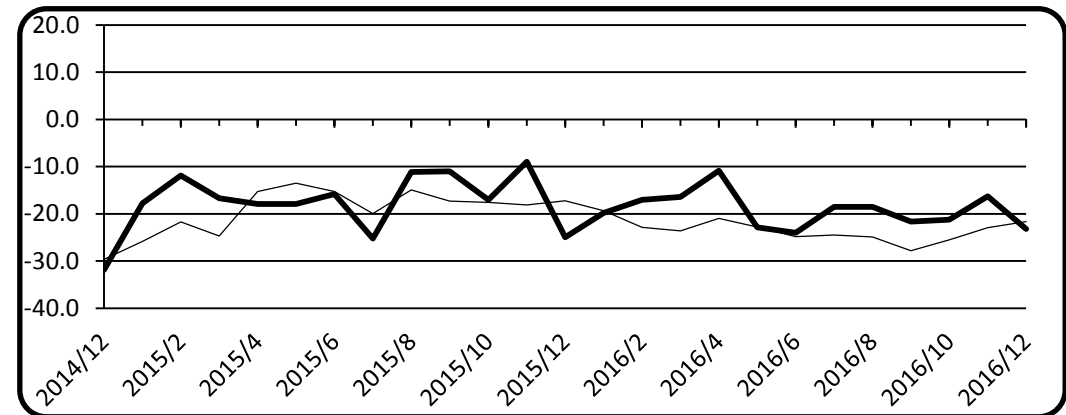
産業別業況DI（前年同月比）の推移

| | 16年 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 先行き見通し 1～3月 |
|------|-----------|--------|--------|--------|--------|--------|----------------|
| 建設 | ▲ 27.3 | ▲ 7.1 | 0.0 | 0.0 | ▲ 7.7 | ▲ 7.7 | 0.0 |
| 製造 | 0.0 | ▲ 8.8 | ▲ 13.3 | ▲ 16.1 | ▲ 3.4 | ▲ 21.9 | ▲ 9.4 |
| 卸売 | ▲ 30.0 | ▲ 45.5 | ▲ 45.5 | ▲ 36.4 | ▲ 36.4 | ▲ 10.0 | ▲ 40.0 |
| 小売 | ▲ 42.9 | ▲ 40.0 | ▲ 40.7 | ▲ 44.0 | ▲ 34.8 | ▲ 38.5 | ▲ 48.0 |
| サービス | 0.0 | 5.3 | ▲ 6.3 | ▲ 5.6 | ▲ 6.3 | ▲ 22.2 | ▲ 11.1 |

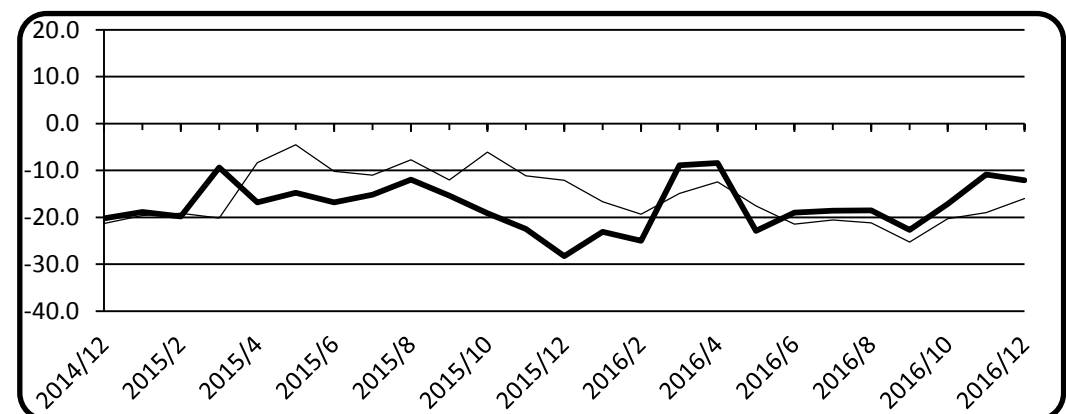
ブロック別全産業DI（前年同月比）の推移（中国）

——— 中国 —— 全国

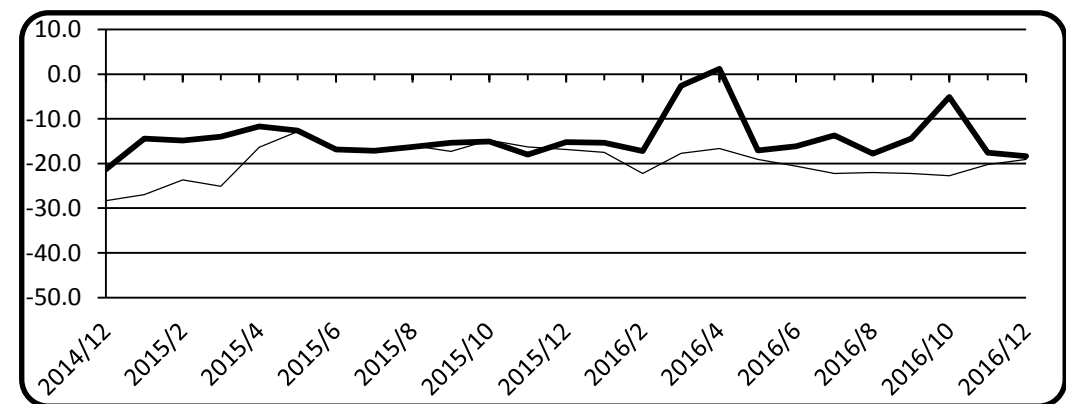
業況



売上



採算



【ブロック別概況・四国】

○全産業の業況DIは、前月と比べ改善。産業別にみると、小売業、サービス業で改善、その他の3業種で悪化した。各業種から寄せられたコメントは以下のとおり。

○「前年のプレミアム付商品券の反動により、前年に比べて売上は減少したものの、インバウンドを含む観光需要は堅調なため、高水準を維持できている」（電器店）、「民間工事は多く、業況は安定している。しかし、人手不足は深刻で、受注できない案件も多い。当社が人材を手当てできても、下請業者がなかなか見つからない」（電気工事業）、「インバウンドを含む観光客は増えており、売上は改善した。だが、旅行慣れしているためか、旅館で夕食を取らず、外食する客が増えている」（旅館業）

○業況の先行き見通しDIは、全産業では今月と比べほぼ横ばいの見込み。産業別にみると、建設業、卸売業で改善、サービス業で横ばい、その他の2業種で悪化する見込み。

全産業DI（前年同月比）の推移

| | 16年 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 先行き見通し 1～3月 |
|------|-----------|--------|--------|--------|--------|--------|----------------|
| 業況 | ▲ 20.4 | ▲ 15.5 | ▲ 22.1 | ▲ 17.5 | ▲ 21.5 | ▲ 19.2 | ▲ 18.4 |
| 売上 | ▲ 13.0 | ▲ 11.8 | ▲ 14.6 | ▲ 16.7 | ▲ 20.6 | ▲ 15.4 | ▲ 8.9 |
| 採算 | ▲ 13.0 | ▲ 14.5 | ▲ 22.1 | ▲ 16.7 | ▲ 15.0 | ▲ 11.5 | ▲ 15.5 |
| 資金繰り | ▲ 13.0 | ▲ 7.3 | ▲ 11.5 | ▲ 9.8 | ▲ 8.4 | ▲ 1.9 | ▲ 5.9 |
| 仕入単価 | ▲ 16.7 | ▲ 21.8 | ▲ 17.3 | ▲ 21.1 | ▲ 26.2 | ▲ 24.0 | ▲ 28.2 |
| 従業員 | 11.2 | 12.8 | 14.6 | 15.0 | 25.5 | 19.4 | 16.7 |

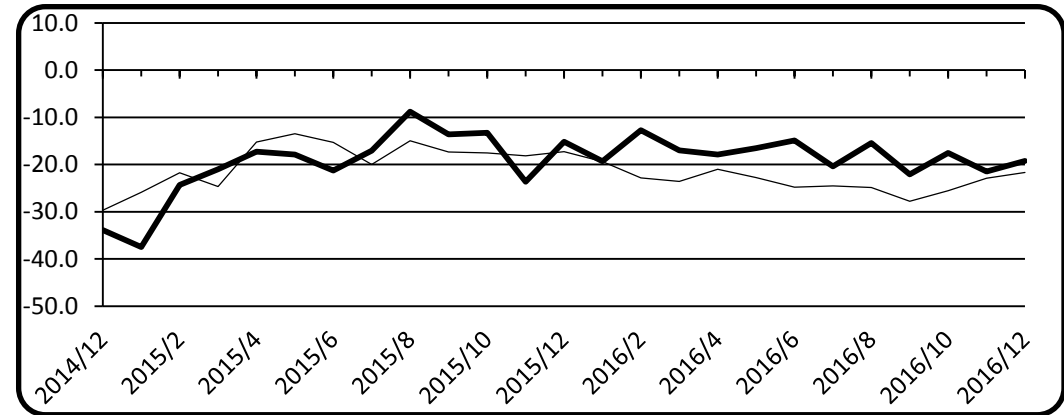
産業別業況DI（前年同月比）の推移

| | 16年 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 先行き見通し 1～3月 |
|------|-----------|--------|--------|--------|--------|--------|----------------|
| 建設 | ▲ 20.0 | ▲ 27.8 | ▲ 22.2 | ▲ 15.0 | ▲ 23.5 | ▲ 27.8 | ▲ 11.8 |
| 製造 | ▲ 23.1 | ▲ 26.9 | ▲ 38.5 | ▲ 32.1 | ▲ 21.4 | ▲ 23.3 | ▲ 26.7 |
| 卸売 | ▲ 10.0 | ▲ 10.0 | ▲ 11.1 | ▲ 9.1 | ▲ 12.5 | ▲ 30.0 | ▲ 10.0 |
| 小売 | ▲ 37.0 | ▲ 20.7 | ▲ 20.0 | ▲ 25.0 | ▲ 21.4 | ▲ 20.0 | ▲ 32.0 |
| サービス | ▲ 4.0 | 7.4 | ▲ 11.5 | 0.0 | ▲ 23.1 | 0.0 | 0.0 |

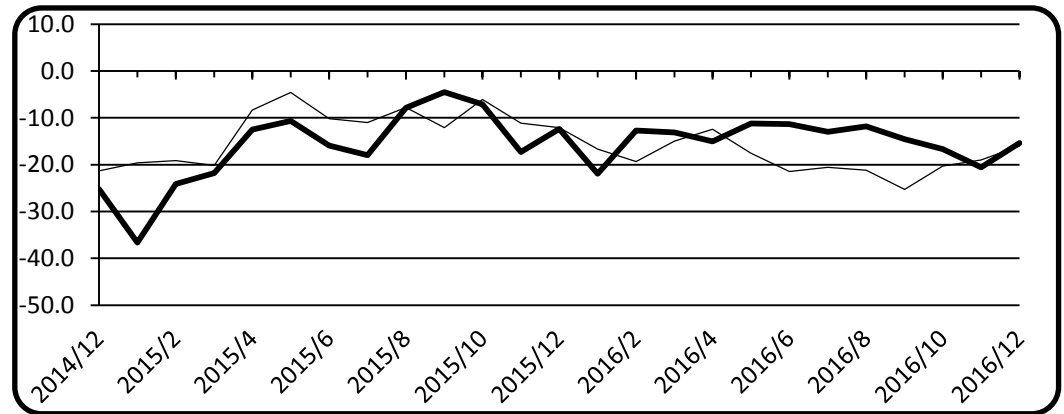
ブロック別全産業DI（前年同月比）の推移（四国）

—— 四国 —— 全国

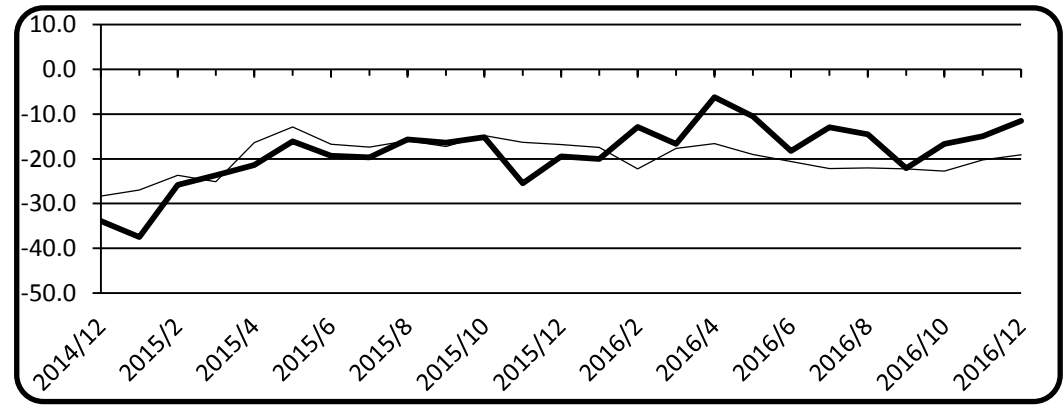
業況



売上



採算



【ブロック別概況・九州】

○全産業の業況DIは、前月と比べ改善。産業別にみると、卸売業、小売業、サービス業で改善、その他の2業種で悪化した。各業種から寄せられたコメントは以下のとおり。

○「熊本地震の影響により、庁舎の建て替え関連工事が多く、売上は堅調。しかし、人手不足による人件費の上昇や、資材の値上がりで採算は悪化した」（建築工事業）、「地元産の農産物が出回り始めたことで、供給量が元に戻り、価格は下がりつつある。高値のため落ち込んでいた消費者の購買意欲が戻れば、売上も回復する見込み」（農産物卸売業）、「人手不足のまま繁忙期を迎え、従業員を交代で休ませることができず、隔週休業している。年末年始を乗り越えられるか不安である」（飲食業）

○業況の先行き見通しDIは、全産業では今月と比べ悪化する見込み。産業別にみると、卸売業、小売業、サービス業で悪化、その他の2業種で改善する見込み。

全産業DI（前年同月比）の推移

| | 16年 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 先行き見通し 1~3月 |
|------|-----------|--------|--------|--------|--------|--------|----------------|
| 業況 | ▲ 31.3 | ▲ 22.6 | ▲ 22.9 | ▲ 22.7 | ▲ 25.0 | ▲ 18.3 | ▲ 23.8 |
| 売上 | ▲ 40.4 | ▲ 13.0 | ▲ 22.0 | ▲ 24.5 | ▲ 25.0 | ▲ 8.8 | ▲ 13.6 |
| 採算 | ▲ 32.7 | ▲ 15.8 | ▲ 17.4 | ▲ 24.8 | ▲ 26.8 | ▲ 11.9 | ▲ 15.2 |
| 資金繰り | ▲ 24.8 | ▲ 27.8 | ▲ 20.4 | ▲ 20.2 | ▲ 26.8 | ▲ 13.5 | ▲ 15.4 |
| 仕入単価 | ▲ 28.9 | ▲ 23.0 | ▲ 28.7 | ▲ 28.4 | ▲ 32.4 | ▲ 28.0 | ▲ 26.6 |
| 従業員 | 18.3 | 20.0 | 11.9 | 20.2 | 19.6 | 23.0 | 22.2 |

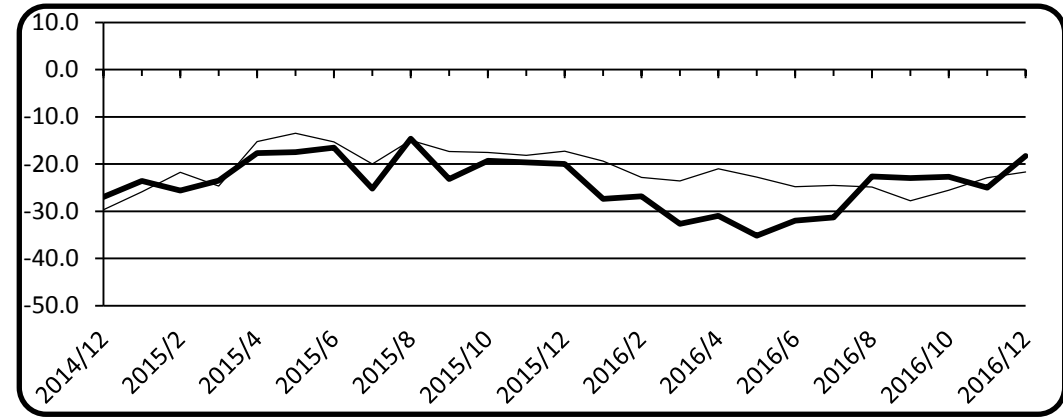
産業別業況DI（前年同月比）の推移

| | 16年 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 先行き見通し 1~3月 |
|------|-----------|--------|--------|--------|--------|--------|----------------|
| 建設 | ▲ 17.6 | ▲ 29.4 | ▲ 28.6 | ▲ 26.7 | ▲ 7.1 | ▲ 17.6 | ▲ 11.8 |
| 製造 | ▲ 29.2 | ▲ 21.4 | ▲ 20.0 | ▲ 21.4 | ▲ 33.3 | ▲ 35.5 | ▲ 32.3 |
| 卸売 | ▲ 38.5 | ▲ 33.3 | ▲ 25.0 | ▲ 15.4 | ▲ 16.7 | ▲ 13.3 | ▲ 26.7 |
| 小売 | ▲ 42.9 | ▲ 40.0 | ▲ 42.3 | ▲ 45.8 | ▲ 44.0 | ▲ 33.3 | ▲ 40.0 |
| サービス | ▲ 27.3 | ▲ 3.0 | ▲ 6.3 | ▲ 6.7 | ▲ 14.7 | 9.1 | ▲ 6.1 |

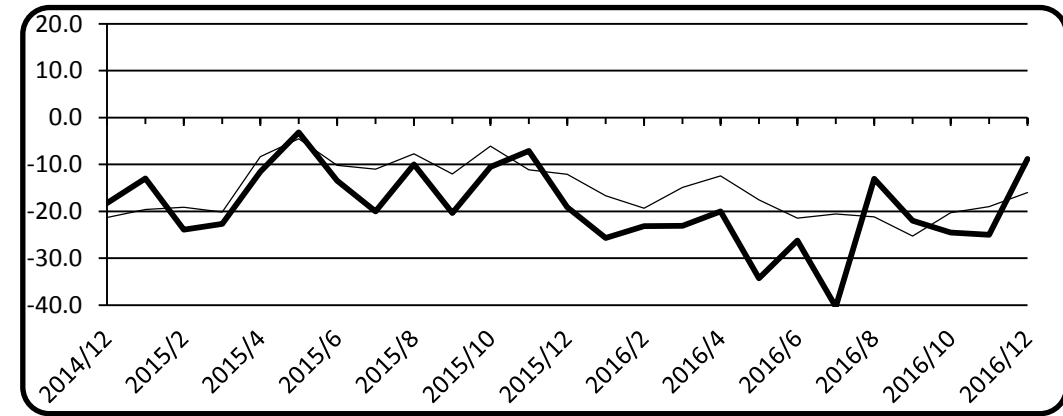
ブロック別全産業DI（前年同月比）の推移（九州）

九州 全国

業況



売上



採算

